

平成 17 年

臨地・薬局実習報告書

城西大学薬学部医療栄養学科

<城西大学所在地>

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

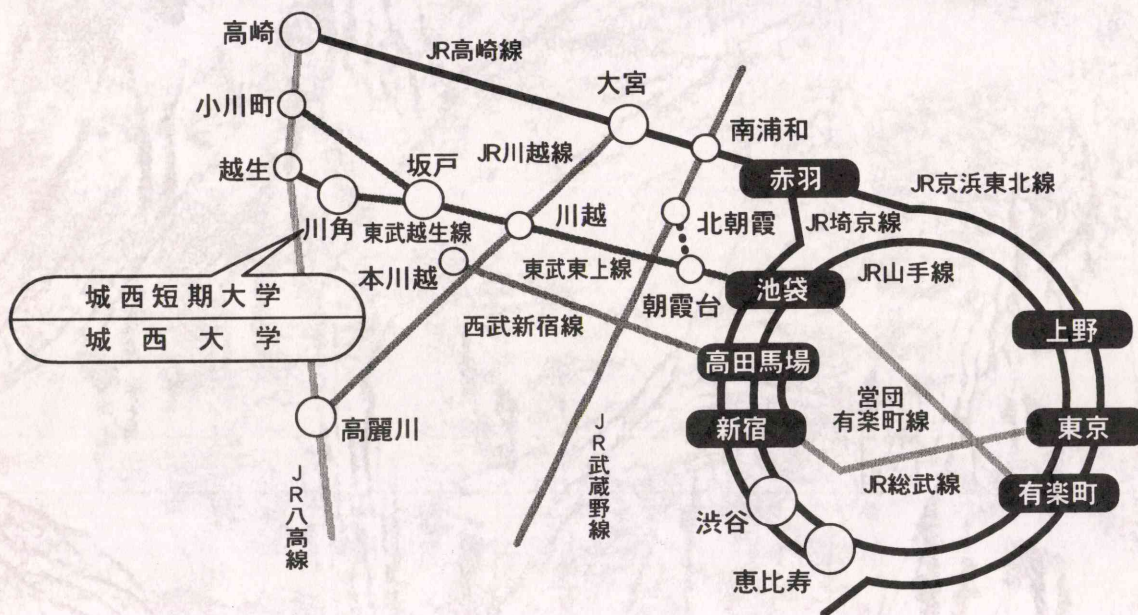
電話 049 (271)7711 (代表)

電話 049 (271) 7729 (薬学部事務室)

ホームページ : <http://www.josai.ac.jp>

<交通案内>

- 1) 東武越生線「川角 (かわかど)」駅下車。徒歩 10 分。
- 2) 関越自動車道「鶴ヶ島インターチェンジ」より車で 20 分
- 3) JR 八高線「高麗川 (こまがわ)」駅よりシャトルバスで 15 分。



平成17年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

目次

1. 挨拶 「学部長 白幡 晶」	1
2. 「臨地・薬局実習」実施要領	3
3. 受入施設一覧	8
4. シラバス	12
5. 導入教育	18
6. 臨地・薬局実習プログラム例	22
7. 学生の感想・反省	26
8. 実習評価と意見・要望	44

1. 挨拶

ご挨拶

城西大学薬学部長 白幡 晶

城西大学薬学部、医療栄養学科にとりまして2年目の臨地・薬局実習が無事終了し、実習報告書を作成する運びとなりました。ここに、実習施設となった病院、保健施設、給食施設、薬局で本学の学生をご指導くださいました管理栄養士および薬剤師をはじめとする諸先生方、また、実習に関連してご協力賜りました多くの方々に心より御礼申し上げます。

平成13年に本学薬学部には医療栄養学科が開設されてすでに5年目に入り、今春には初めての卒業生を送り出すに至りました。管理栄養士国家試験では本学科の88名の受験者全員が合格する好成績を得ることができ、学生とともにこの4年間全力で過ごしてきた教員にとりましては、ほっとしたというのが正直な感慨であります。今春巣立っていった卒業生は、昨年臨地・薬局実習でお世話になった貴重な経験を糧として、それぞれの進路で元気に活躍しております。本年の実習においても、すべての学生に対しまして配慮にみちた心温まるご指導をいただき、大きく成長させていただきましたことに対して、心から感謝申し上げる次第です。本学薬学部の基本姿勢である、社会に要望される医療人としての専門職業人の養成を実現するために、今後も本学科では、医療人を養成するという意識を基本として、来るべき未来に有用な知識、技能、態度を身につけた管理栄養士の養成に全力を傾ける所存です。

ここに作成いたしました臨地・薬局実習報告書をご覧いただき、ご意見、ご批判をお寄せいただければ幸甚に存じます。皆様方のご意見、ご批判を参考に、本学の実務実習、管理栄養士教育をより充実したものとさせていただければと考えております。本年の本学実習に対する多大なご協力に対して、重ねて御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2. 「臨地・薬局実習」実施要領

平成17年 臨地実習Ⅰ（臨床栄養学） 実施要領

1. 目的 病院における管理栄養士の臨床栄養実務の実習
2. 対象学生 2002年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成17年6～9月の3週間
4. 実施施設 病院
5. 単位数 3単位、必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成17年 臨地実習Ⅱ（給食運営・給食経営管理） 実施要領

1. 目的 特定給食施設における管理栄養士の給食管理実務の実習
2. 対象学生 2002年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成17年6月から9月の1週間
4. 実施施設 病院および特定給食施設
5. 単位数 1単位、必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成17年 公衆栄養学実習 実施要領

1. 目的 保健所、保健センターにおける管理栄養士の公衆栄養実務の実習
2. 対象学生 2002年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成17年6月の1週間
4. 実施施設 保健施設
5. 単位数 1単位、選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成17年 薬局実習 実施要領

1. 目的 薬局における管理栄養士実務の実習
2. 対象学生 2002年度入学生（3年次または4年次）
3. 実施期間 平成16年3月から8月までの1週間
4. 実施施設 薬局
5. 単位数 1単位、選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

3. 受入施設一覽

臨地実習Ⅰ（臨床栄養）・臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）

正式な実習施設名称	実習期間		人数	所在地	
	自	至			
医療法人 寿楽会 大野記念病院	7月4日	7月29日	1	大阪府	大阪市西区南堀江 1-26-10
医療法人 真正会 霞ヶ関南病院	7月1日	7月28日	2	埼玉県	川越市安比奈新田 283-1
医療法人 藤仁会 藤村病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	上尾市仲町 1-8-33
医療法人 武蔵野総合病院	7月4日	7月30日	3	埼玉県	川越市大字大袋新田 977-9
医療法人財団 立川中央病院	7月4日	7月30日	2	東京都	立川市柴崎町 2-17-14
医療法人財団石心会 狭山病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	狭山市糶ノ木 1-33
医療法人財団石心会 川崎幸病院	7月4日	7月29日	2	神奈川県	川崎市幸区都町 39-1
医療法人財団中山会 八王子消化器病院	7月4日	7月30日	1	東京都	八王子市万町 177-3
医療法人埼玉成恵会病院	7月4日	7月29日	2	埼玉県	東松山市石橋 1721
医療法人慈弘会 岩槻中央病院	7月4日	7月30日	1	埼玉県	岩槻市東岩槻 2-2-20
医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院	7月1日	7月28日	1	千葉県	習志野市谷津 1-9-17
医療法人社団尚篤会 赤心堂病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	川越市脇田本町 25-19
医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	7月4日	7月30日	2	東京都	板橋区小豆沢 2-12-7
医療法人社団恵洋会 森川病院	7月4日	7月30日	1	千葉県	茂原市上茂原 388-12
医療法人積仁会 旭ヶ丘病院	6月27日	7月22日	2	埼玉県	日高市大字森戸新田 99-1
医療法人刀仁会 坂戸中央病院*	7月4日	7月22日	3	埼玉県	坂戸市南町 30-8
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院	6月27日	7月22日	2	神奈川県	茅ヶ崎市幸町 14-1
医療法人博仁会 共済病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	さいたま市緑区原山 3-15-31
掛川市立総合病院	7月4日	7月29日	1	静岡県	掛川市杉谷 721
国立がんセンター東病院	7月1日	7月29日	3	千葉県	柏市柏の葉 6-5-1
国立身体障害者リハビリテーションセンター	7月4日	7月29日	3	埼玉県	所沢市並木 4-1
国立精神・神経センター武蔵病院	7月4日	7月29日	2	東京都	小平市小川東町 4-1-1
財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院	7月4日	7月29日	3	東京都	練馬区旭丘 2-41-1
財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院	7月4日	7月29日	1	静岡県	沼津市本字松下七反田 902-6
財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	7月4日	7月29日	1	福島県	郡山市駅前 2-15-16
埼玉医科大学病院	7月1日	7月29日	2	埼玉県	入間郡毛呂山町大字毛呂本郷 38
埼玉県立小児医療センター*	7月4日	7月22日	2	埼玉県	岩槻市馬込 2100
埼玉県立がんセンター	7月25日	8月5日	1	埼玉県	北足立郡伊奈町大字小室 818
山梨大学医学部附属病院	7月1日	7月29日	1	山梨県	中巨摩郡玉穂町下河東 1110
自治医科大学附属大宮医療センター*	7月4日	7月23日	2	埼玉県	さいたま市天沼町 1-847
	7月4日	8月20日	2		
社会福祉法人 賛育会 賛育会病院	8月1日	7月30日	2	東京都	墨田区大平 3-20-2
社団医療法人 栃内病院第二病院	7月4日	7月30日	1	岩手県	岩手郡滝沢村大釜字吉水 103-1
社団法人 東松山医師会病院	6月27日	7月22日	2	埼玉県	東松山市神明町 1-15-10
順天堂大学医学部付属静岡病院	7月4日	7月29日	1	静岡県	田方郡伊豆長岡町長岡 1129
城東社会保険病院	7月4日	7月30日	1	東京都	江東区亀戸 9-13-1
新潟県立がんセンター新潟病院	7月4日	7月30日	1	新潟県	新潟市川岸町 2-15-3
神奈川県衛生看護専門学校附属病院*	9月20日	10月8日	1	神奈川県	横浜市磯子区汐見台 1-6-5
静岡市立静岡病院	7月11日	8月5日	1	静岡県	静岡市葵区追手町 10-93
大宮医師会市民病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	さいたま市北区宮原町 2-125-16
町田市民病院	7月4日	7月29日	1	東京都	町田市旭町 2-15-41
長野県厚生農業協同組合連合会 篠ノ井総合病院	7月4日	7月30日	1	長野県	長野市篠ノ井会 666-1
東海大学医学部付属八王子病院	8月22日	9月17日	2	東京都	八王子市石川町 1838
東京医科大学八王子医療センター	7月4日	7月30日	3	東京都	八王子市館町 1163
東京歯科大学市川総合病院	8月1日	8月27日	1	千葉県	市川市菅野 5-11-13
東京慈恵会医科大学附属柏病院	7月4日	7月30日	1	千葉県	柏市柏下 163-1
東京大学医科学研究所附属病院*	7月4日	7月22日	1	東京都	港区白金台 4-6-1
東京都教職員互助会三楽病院	7月4日	7月30日	3	東京都	千代田区神田駿河台 2-5
東邦大学医学部付属佐倉病院	7月1日	7月28日	1	千葉県	佐倉市下志津 564-1
特定医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院	7月4日	7月30日	1	埼玉県	北葛飾郡杉戸町清地 2-2-11
特定医療法人社団新都市医療研究会【関越】会 関越病院	7月4日	7月30日	2	埼玉県	鶴ヶ島市大字脚折 145-1
特定医療法人社団堀ノ内病院	7月4日	7月29日	2	埼玉県	新座市堀ノ内 2-9-31
特定医療法人大坪会 東和病院	7月4日	7月29日	2	東京都	足立区東和 4-7-10
独立行政法人国立病院機構下志津病院	7月4日	7月29日	2	千葉県	四街道市鹿渡 934-5
独立行政法人国立病院機構高崎病院	7月4日	7月29日	2	群馬県	高崎市高松町 36
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	7月11日	8月5日	2	東京都	立川市緑町 3256
独立行政法人国立病院機構相模原病院	7月4日	7月29日	2	神奈川県	相模原市桜台 18-1
独立行政法人国立病院機構東京医療センター	7月4日	7月29日	3	東京都	目黒区東が丘 2-5-1
独立行政法人国立病院機構東京病院	7月4日	7月29日	2	東京都	清瀬市竹丘 3-1-1
独立行政法人国立病院機構東長野病院	7月4日	7月29日	1	長野県	長野市上野 2-477
日本赤十字社医療センター*	6月27日	7月15日	1	東京都	渋谷区広尾 4-1-22
北福島医療センター	7月4日	7月29日	1	福島県	伊達郡伊達町箱崎字東 23-1

*臨地実習Ⅰ（臨床栄養）のみ実施

臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）

正式な実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
株式会社 アカマツ	6月6日	6月11日	2	埼玉県	川越市月吉町	41-3
協同組合川越給食センター	6月6日	6月10日	3	埼玉県	川越市福田	124-1
福島県白河市立白河第一小学校	6月13日	6月17日	1	福島県	白河市字菖蒲沢	41-1
航空自衛隊入間基地 (中部航空警戒管制団司令部)	8月8日	8月13日	6	埼玉県	狭山市稲荷山	2-3
航空自衛隊熊谷基地司令	6月6日	6月10日	6	埼玉県	熊谷市拾六間	839
	6月20日	6月24日	5			
陸上自衛隊朝霞駐屯地	8月22日	8月26日	6	東京都	練馬区大泉学園町	
	8月29日	9月2日	5			
陸上自衛隊大宮駐屯地	6月6日	6月10日	6	埼玉県	さいたま市北区日進町	1-40-7
	6月20日	6月24日	5			
陸上自衛隊練馬駐屯地	6月6日	6月10日	5	東京都	練馬区北町	4-1-1
	6月20日	6月24日	6			

臨地実習Ⅲ（公衆栄養）

正式な実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
上尾市保健センター	6月6日	6月17日	2	埼玉県	上尾市春日	2-10-33
朝霞市保健センター	6月13日	6月17日	2	埼玉県	朝霞市本町	1-7-3
入間市健康福祉センター	6月16日	6月29日	4	埼玉県	入間市上藤沢	730-1
川里町保健センター	6月13日	6月17日	1	埼玉県	北埼玉郡川里町関新田	1281-1
騎西町保健センター	6月6日	6月10日	2	埼玉県	北埼玉郡騎西町大字下崎	404-1
久喜市保健センター	6月20日	6月24日	2	埼玉県	久喜市本町	5-10-47
さいたま市浦和区保健センター	6月20日	6月24日	3	埼玉県	さいたま市浦和区常盤	6-4-18
さいたま市大宮区保健センター	6月13日	6月17日	2	埼玉県	さいたま市大宮区大門町	3-1
さいたま市西区保健センター	6月20日	6月24日	3	埼玉県	さいたま市西区大字指扇	3743
さいたま市緑区保健センター	6月13日	6月17日	3	埼玉県	さいたま市緑区大字中尾	975-1
さいたま市南区保健センター	6月20日	6月24日	3	埼玉県	さいたま市南区別所	7-6-1
さいたま市見沼区保健センター	6月13日	6月17日	2	埼玉県	さいたま市見沼区堀崎町	12-36
坂戸市市民健康センター	6月6日	6月10日	3	埼玉県	坂戸市石井	2327-3
狭山市保健センター	6月20日	6月24日	4	埼玉県	狭山市狭山台	3-24
庄和町保健センター	6月13日	6月28日	2	埼玉県	北葛飾郡庄和町大字大倉	496-1
草加市保健センター	6月13日	6月17日	3	埼玉県	草加市高砂	1-1-1
秩父市保健センター	6月24日	6月30日	1	埼玉県	秩父市永田町	4-17
千代田区千代田保健所	6月6日	6月10日	1	東京都	千代田区神田錦町	3-10
東松山市保健センター	6月13日	6月17日	3	埼玉県	東松山市材木町	2-36
日高市立保健相談センター	6月6日	6月17日	6	埼玉県	日高市大字鹿山	370-20
三芳町保健センター	6月13日	6月17日	2	埼玉県	入間郡三芳町藤久保	185-1
嵐山町健康増進センター	6月6日	6月10日	2	埼玉県	比企郡嵐山町大字杉山	1030-1

薬局実習

正式な実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
秋山薬局駅前店	5月30日	6月4日	1	埼玉県	坂戸市日の出町	14-8-101
株式会社 あさひ調剤 (本社)	2月28日	3月4日	2	埼玉県	さいたま市北区東大成町	1-626-1
	3月7日	3月11日	2			
	3月14日	3月18日	2			
	8月1日	8月5日	2			
株式会社 アシスト (あすなろ薬局)	3月7日	3月11日	2	埼玉県	入間市東町	7-13-16
	8月8日	8月12日	1			
株式会社 アップルケアネット	3月7日	3月11日	2	栃木県	栃木市箱森町	53-30
株式会社 イタヤマメディコ	3月14日	3月19日	1	山梨県	甲府市桜井町	643-1
株式会社 エフケイ	3月6日	3月19日	2	埼玉県	東松山市箭弓町	2-8-28
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア大宮宮原)	3月7日	3月11日	2	埼玉県	さいたま市北区宮原町	3-277-1
	3月14日	3月18日	1			
	3月21日	3月25日	1			
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア川越的場)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	川越市的場	1-15-9
	3月14日	3月18日	1			
	3月21日	3月25日	1			
	6月13日	6月17日	2			
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア北坂戸)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	坂戸市芦山町	13-4
	3月14日	3月18日	1			
	6月13日	6月17日	1			
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア行田)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	行田市佐間	1-5-5
	3月14日	3月18日	1			
株式会社 グリーncross・コア	3月7日	3月11日	2	埼玉県	熊谷市別府	1-46
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア坂戸浅羽野)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	坂戸市浅羽野	1-2-1
	3月14日	3月18日	1			
	3月21日	3月25日	1			
	6月13日	6月17日	1			
	6月20日	6月24日	1			
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア坂戸南口)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	坂戸市緑町	7-8
	3月14日	3月18日	1			
	3月21日	3月25日	1			
株式会社 グリーncross・コア (ウエルシア秩父宮地)	3月7日	3月11日	1	埼玉県	秩父市上宮地町	26-15
	3月14日	3月18日	1			
株式会社 グリーncross・コア	3月7日	3月11日	2	埼玉県	さいたま市見沼区東大宮	5-14-5
株式会社 シブヤ薬局	3月22日	3月26日	2	埼玉県	所沢市東所沢	1-14-7
株式会社 ダイヤライフ	8月8日	8月12日	1	東京都	文京区大塚	5-3-13
株式会社 高田薬局 (真光寺店)	3月15日	3月19日	2	東京都	町田市真光寺	3-21-20
株式会社 高田薬局 (本社)	3月8日	3月12日	4	静岡県	静岡市葵区若松町	41-1
株式会社 高田薬局 (みなみ野店)	3月15日	3月19日	2	東京都	八王子市みなみ野	5-15-5
株式会社 日本アポック	3月7日	3月11日	2	埼玉県	鶴ヶ島市脚折	1440-35
	8月22日	8月26日	2			
株式会社 ファーコス	3月14日	3月18日	2	東京都	千代田区神田練堀町	68
株式会社 フォーラル (ひかり薬局)	3月7日	3月12日	2	東京都	江東区大島	7-1-19
薬日本堂 株式会社 (新潟店)	3月5日	3月12日	1	新潟県	新潟市東青山	1-6-4
薬の坂重薬局	6月20日	6月25日	1	埼玉県	坂戸市日の出町	6-20-101
セガミメディックス 株式会社	3月7日	3月11日	2	東京都	渋谷区笹塚	1-64-8
	3月14日	3月18日	1			
調剤薬局 薬樹株式会社 (わかば薬局)	3月7日	3月11日	2	神奈川県	大和市西鶴間	1-9-18
3月14日	3月18日	1				
日本調剤 株式会社 (山手薬局)	3月14日	3月18日	2	東京都	目黒区大橋	2-22-45
望星薬地薬局	6月13日	6月17日	2	東京都	中央区明石町	11-15
望星薬局	6月13日	6月17日	2	神奈川県	伊勢原市下糟屋	96-2
薬局 恵比寿ファーマシー	3月7日	3月12日	2	東京都	渋谷区恵比寿	1-22-23
ゆずの木薬局	3月7日	3月18日	2	埼玉県	入間郡毛呂山町長瀬	2315-1
ユニコ調剤薬局 (本店)	3月7日	3月11日	2	埼玉県	坂戸市八幡	2-9-9
	3月14日	3月18日	2			
有限会社 サンワールド	3月14日	3月18日	1	埼玉県	所沢市弥生町	2871-43

4. シラバス

臨地実習 I (臨床栄養学実習)

目的： 実践的な病院業務としての基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、医療施設における管理栄養士の実践的な業務を体験し、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う能力を養う。

実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I 事前教育 (城西大学内)	臨床栄養学実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の組織と業務内容 2 病院における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション 	
II 実習施設内オリエンテーション (組織と栄養部門)	各部門および栄養部門の役割、部門間の連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 栄養部門の組織と職種、業務 3 栄養業務に関する他部門との調整 4 他職種の業務の概要を認識し、連携や役割分担を積極的に行う態度 5 病院組織と栄養部門の位置づけ、役割 6 他部門の見学 (看護部、薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、医事課) 7 病棟見学 	病院長、事務局部長、施設見学、職員への挨拶 管理栄養士、栄養士、調理師、調理員 栄養委員会見学 診療部、副診療部、看護部、事務部 カンファレンス、患者に対する服薬指導の見学
III 法的規制と業務	法的な枠組みに沿った栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規 (医療法、保険診療制度、介護保険制度など) の枠組みと業務 2 入院時食事療養制度における食事管理と栄養指導業務の概要 3 栄養関係書類の種類と意義 	
IV 食事管理	食事の運営管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 入院患者の食事の管理システム 2 食種の区分と栄養基準 3 一般食の栄養基準量の算出方法 4 特別治療食の献立運用方法 5 食事箋の流れと記載事項 6 患者への配食方法、食札記入事項 7 治療食における少量多食種調理と配膳の運営管理方法 8 入院患者の食事の摂食量の把握方法 9 摂食量、QOLを上げる為の食事の工夫 	直営、委託、オンライン 年齢構成 疾病別、成分別 適温、適時、食堂、選択食、行事食、嗜好食など
V 食事設計	食事設計	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷病者の栄養状態や合併症に対する食事設計 2 嚥下障害等への対応を目的とした形態調節食の区分や調整方法 3 医薬品と食事の相互作用に考慮した食事設計 4 特別用途食品を有効に活用した食事設計 5 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した食事設計 6 患者の病状や栄養状態に配慮した食事設計 7 摂食量、QOLを上げる為の食事設計 	

実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
VI 栄養管理	栄養治療	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養管理システム 2 病棟における管理栄養士の業務 3 施設における栄養治療（経静脈栄養療法、経腸栄養療法） 4 強制経腸栄養療法の院内での管理方法 5 栄養アセスメント 6 患者の病態および栄養状態の評価・判定に基づいた栄養治療計画 7 嚥下障害者への対応 8 栄養管理における他職種との連携、役割分担 	<p>患者の把握、栄養管理計画、評価、判定 IVH, 経腸栄養見学</p> <p>カルテ、検査値</p> <p>ST、摂食訓練、食事介助</p>
VII 栄養指導	栄養指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養指導業務の種別 2 栄養指導に必要な患者情報、臨床検査値、服薬状況を確認する方法 3 栄養指導の依頼と報告の流れ 4 栄養指導指示箋の記載事項 5 栄養指導報告書の記載事項、記載方法（POS） 6 主治医の治療方針の理解 7 治療方針に沿った他職種の患者に対するアプローチ 8 患者の心理状態に配慮した栄養指導 9 入院患者に対する医療面接と栄養指導 10 外来患者に対する栄養指導 11 患者の病状や栄養状態、心理状態に配慮した栄養指導 	<p>外来個別栄養指導、入院個別栄養指導、在宅訪問栄養指導、集団栄養指導、人間ドック、〇〇教室等</p> <p>医師、カルテ、カンファレンス</p> <p>医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ST（言語聴覚療法士）、OT（作業療法士）</p> <p>見学 見学</p>
VIII リスク管理	衛生安全対策	<ol style="list-style-type: none"> 1 院内のリスクマネジメント 2 感染予防などの安全衛生対策 3 調理や配膳における衛生管理 4 調乳や経腸栄養調整時における衛生管理 5 食中毒発生時の対応 6 災害時の対策 	<p>手洗い、消毒、予防衣 手順、記録、教育</p>
IX 実習総括	専門的知識および技術の統合	<p>大学と施設で学んだ専門知識を基に、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上</p>	

臨地実習Ⅱ（給食の運営、給食経営管理実習を含む）

目的： 実践的な給食管理に関わる基本的知識および基本的技能・態度の修得を目指し、特定給食施設における献立管理、栄養管理、衛生管理、集団給食調理の実験を体験する。

実習項目	実習目標	実習要点	メモ
I 事前教育（城西大学内）	給食施設実習に必要な基礎知識、態度	1 給食施設の業務内容 2 給食施設における管理栄養士の役割と業務内容 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示項目や課題への積極的な取り組み、報告 7 積極的なコミュニケーション	
II 実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	1 施設の業務内容 2 施設における管理栄養士の役割と業務	施設長・管理栄養士 施設内見学と職員への挨拶
III 組織の概要	組織と栄養部門、給食経営形態	1 組織と栄養部門の位置づけ、役割 2 栄養部門と他部門との連携 3 栄養部門の組織と職種、業務分担 4 給食経営形態	直営、準直営、委託
IV 給食施設の概要	施設、設備管理	1 効率的な運営をするための施設、設備管理 2 作業動線に適した作業区分の領域設定 3 衛生管理上の領域設定	厨房のレイアウト、機器、器具類
V 作業管理	作業管理	1 作業区分ごとの調理作業の流れ 2 一定期間におけるシフト管理 3 調理作業工程と作業領域 4 大量調理の特性と留意点 5 温冷食配膳の方法	
VI 食材管理	食材管理	1 食材料の購入計画 2 食材料の発注、納品・検収、保管方法	検収作業の見学
VII 栄養管理	施設の給食方法、栄養管理と献立の役割、評価	1 供食形態 2 給与栄養目標量の設定 3 給与栄養目標量に基づいた食品構成 4 給与栄養目標量に基づいた献立作成とその施設における献立の特徴 5 実施献立に対する評価方法 6 給食状況調査 7 調理作業員および喫食者に対する栄養教育の方法	単一、複数献立、カフェテリア方式 年齢、性別、生活活動強度 栄養出納表、栄養報告書 喫食量調査、残食調査、嗜好調査 献立内容の紹介、栄養メモ 栄養相談、試食会、料理講習会等の見学
VIII 経営管理	給食事務管理	1 帳票類の種類と作成方法 2 コンピューター処理業務 3 コスト管理の概要	食事計画、食品管理、食数管理、検食簿、給食日誌
IX 衛生・安全管理	衛生・安全管理	HACCPに基づく衛生管理の具体的方法と測定、記録方法	食材管理、温度管理、施設・設備管理、検食・保存食、衛生教育
X 実習総括	専門的知識および技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での応用	

臨地実習Ⅲ（公衆栄養学実習）

目的： 保健施設で活躍する管理栄養士として持つべき基本的知識および基本的技能、態度の修得を目指し、公衆衛生・地域保健と連携して行う疾病予防・健康増進のための栄養教育の実際を体験する。

	実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I	事前教育（城西大学内）	保健施設実習に必要な基礎知識、態度	1 保健施設の業務内容 2 保健施設内における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題の積極的な取り組み、報告 7 積極的なコミュニケーション	学内外講師による講義 服装、言葉づかい、挨拶などの徹底
II	実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	1 保健施設内の各部門の業務内容 2 施設における管理栄養士の役割と業務 3 管理栄養士の所属部門と他部門との連携	施設長および部門長、管理栄養士などによるオリエンテーション 施設内見学と各部門の責任者、職員への挨拶
III	地域保健栄養体制の整備	地域保健栄養体制と管理栄養士の役割	1 「健康日本21」の地方計画 2 地域保健医療計画 3 栄養改善事業計画 4 関連部門との連携 5 外部機関および団体との連携	事業計画案など資料閲覧 健康づくりボランティア活動 患者会
IV	栄養相談と栄養指導	ライフステージ別、健康栄養状態別栄養関連サービス	1 栄養上のハイリスク集団の特定の仕方 2 栄養相談におけるコミュニケーション術 3 栄養関連サービスプログラム 4 栄養指導記録の記載法	ライフステージ別の栄養指導、巡回訪問 乳幼児健診 POS、栄養指導・相談の見学
V	健康教育	各種教室・講習会	各種教室・講習会における健康教育の見学	高脂血症予防教室 骨粗しょう症予防教室 離乳食講習会 糖尿病講習会
VI	啓発事業	啓発事業の種類	健康フェア、健康祭、栄養展などの啓発事業	各種啓発事業の体験
VII	人材の育成と活用	人材の育成と活用	1 在宅栄養士の育成と活用 2 管内栄養士教育研修制度の内容、実施法	研修プログラムの閲覧
VIII	健康・栄養調査と情報分析	健康・栄養問題に関する情報の収集・分析	1 保健統計調査 2 住民に対する各種調査法 3 情報分析の方法	国民生活基礎調査 国民健康栄養調査
IX	実習総括	専門知識及び技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での統合	

薬局実習

目的： 実践的な薬局管理栄養士の業務における基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、薬局における管理栄養士の実践的な業務を体験し、健康・栄養状態および服薬その他健康食品の使用状況に基づいた適正な栄養指導を行う能力を養う。

	実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I	事前教育 (城西大学内)	薬局実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局の組織と業務内容 2 薬局における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション 9 薬剤師倫理規定の理解 	
II	実習施設内 オリエンテー ション	薬局の機能・役割と薬 剤師の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 薬局の機能と役割 3 薬剤師の職務 4 保険調剤の流れ（処方せん受付から投薬まで） 5 調剤室見学 	
		薬局管理栄養士の役 割、薬剤師との連携	<ol style="list-style-type: none"> 6 薬局管理栄養士に求められる役割 7 薬局における業務の概要の認識と連携および役割分担（チーム医療） 	
III	法的規制と業務	法的な枠組みに沿った 栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規（医療法、保険診療制度、介護保険制度など）の枠組みと業務 2 調剤報酬算定のしくみ 	
IV	栄養指導	栄養指導業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者のライフステージや栄養状態あるいは病状に対応した栄養指導 2 医薬品と食事の相互作用を考慮した栄養指導 3 特別用途食品を有効に活用した栄養指導 4 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した栄養指導 	
V	来局者情報管理	来局者の情報管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者の情報源の種類と特徴 2 来局者の疾患領域の把握 3 栄養指導に必要な患者情報 4 処方薬からの疾患名の推察 5 薬物の効果および副作用のモニタリング（情報収集、評価） 6 薬歴管理の方法 7 栄養指導歴の記載事項および方法（POS） 8 服薬指導の概要 9 来局者情報の共有 	
VI	薬局における商 品販売業務	販売業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局で取り扱う商品（特別用途食品、特定保健用食品、健康補助食品、いわゆる健康食品、医薬部外品など）の特徴と使用上の注意点 2 販売の実際 	
		商品管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 3 商品管理の実際 	
VII	実習総括	専門的知識および技術 の統合	大学と施設で学んだ専門知識を基に、健康状態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上	

5. 導入教育

臨地・薬局実習事前教育

平成 16 年 7 月 30 日（金）、岩瀬靖彦（城西大学薬学部）

1. 臨地実習全般について（導入教育・手続きなど）

平成 16 年 12 月 4 日（土）、石原義光（マツモトキヨシ人事部）

1. ビジネスマナーのポイント

加園恵三、岩瀬靖彦（城西大学薬学部）

1. 臨地実習の意義
2. 臨地実習を行うにあたっての心構え
3. 具体的な手続き方法
4. 注意事項
5. 事例集

平成 16 年 12 月 11 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 病院において実習を受ける意義、受け入れる側の思い
2. 実習を受け入れる側の立場から、特に心がけて欲しいこと
3. 実習までの準備
4. 臨地実習における心構え
5. 臨地実習における具体的な目標
6. 実習にふさわしい身なりや態度、言葉使い、話題
7. 実習中の態度
8. 昨年度の実習の具体例

平成 16 年 12 月 21 日（火）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 病院組織（総合病院）
2. 病院における栄養部門の立場・役割
3. 栄養部門の種々の業務
3. 給食管理実習の意義・目的
4. 事前準備
5. 厨房における実習について注意事項
6. 病院における給食経営の管理
7. 給食管理業務区分と役割分担
8. 給食施設の運用（ゾーニング）
9. 衛生管理の具体的な取り組み（検食・保存食等）
10. 適温の食事提供方法

平成 16 年 12 月 25 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 入院時食事療養制度の概要
2. 食事名と成分コントロール、形態コントロールとの関係
3. 食事オーダーの流れ
4. 選択食、行事食、個別対応等
5. 調乳、経腸栄養の調整
6. 給食管理実習で患者さんとの接しかた
7. 入院時食事療養制度において必要な帳票類と作成手順
8. 献立作成手順、献立管理
9. 一日の献立表の具体例

平成 17 年 1 月 28 日（金）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 臨床栄養学実習の意義・目的
2. 医療人・実習生としてふさわしい態度とは
3. 患者さんに接する時の態度等
4. 他部門の方に接する時の態度
5. 実習開始までの準備
6. 病棟における管理栄養士の業務
7. 外来における管理栄養士の業務
8. 医療チームの一員として、他部門と連携をとりながら栄養の専門家としての業務
9. 栄養部門内の栄養管理業務

平成 17 年 2 月 4 日（金）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 臨床栄養管理について
2. 臨地実習で学ぶこと
3. 栄養ケアシステムの具体的な方法
4. 最適な栄養補給法の組合せ
5. 個別栄養指導の実際の流れ
6. 栄養指導記録
7. 具体的な症例に基づいた演習

平成 17 年 2 月 5 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. グループワーク症例検討

平成 17 年 2 月 10 日 (木)、水野文夫 (日本赤十字社医療センター)

1. 院内約束食事箋の具体的な運用
2. 食札
3. 個人対応例

川島洋一、岩瀬靖彦 (城西大学薬学部)

1. 臨地実習について
2. 臨地実習における諸注意

平成 17 年 2 月 19 日 (金)、水野文夫 (日本赤十字社医療センター)

1. 透析室カンファレンス、透析患者へのアプローチ
2. 糖尿病血糖調整 (教育) 入院システムの紹介
3. 褥瘡回診における管理栄養士の役割
4. NST ラウンド
5. 社団法人日本栄養士会
6. 総括

津田整、和田政裕 (城西大学薬学部)

1. 薬局実習事前教育

加園恵三 (城西大学薬学部)

1. 試験

平成 17 年 5 月 21 日 (土)、加園恵三、角田伸代、山王丸靖子 (城西大学薬学部)

1. 試験結果の説明
2. 臨地実習 I (臨床栄養) のための事前教育
3. 臨地実習のための臨床栄養学
4. 臨地実習 III (公衆栄養) のための事前教

平成 17 年 5 月 25 日 (水)、片野 (坂戸市立市民健康センター)

1. 健康なまち「さかど」の実現に向けてー栄養業務活動を通じてー

平成 17 年 5 月 28 日 (土)、松本明世、江端みどり、岩瀬靖彦 (城西大学薬学部)

1. 新しい食事摂取基準について
2. 新しい食事摂取基準に基づいた臨地実習 II (給食管理) のための事前教育
3. 実習前の諸注意

6. 臨地・薬局実習プログラム例

〇〇病院栄養士養成施設臨地訓練予定表

栄養士養成施設名：城西大学薬学部医療栄養学科

平成17年7月4日から平成17年7月29日まで

4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)
オリエンテーション (各部署挨拶)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	各研究施設 その他 から の 研 究 発 表 表 管理業務の 展望	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)
糖尿病教室(医師)	糖尿病教室 NSTラウンド	栄養管理業務講義	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	NSTラウンド		糖尿病教室	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) NST治療計画 *	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	乳児検診 栄養管理業務講義
15日(金)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)
管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) VF	調理業務実習	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)
管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) NSTラウンド *	糖尿病教室 NSTラウンド	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) NSTラウンド	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) 栄養管理業務講義	ミニヘルスクラブ NSTラウンド	調理業務実習	糖尿病教室 NSTラウンド	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行)	乳児検診	管理栄養士業務実習 (担当栄養士に同行) NSTラウンド

*17:30~NST勉強会

VF: Video Fluoroscopic Examination of Swallowing

*上段 午前

下段 午後

実習心得

1. 実習時間は9:00~17:30(昼休み12:00~13:00)で時間厳守のこと
2. 実習期間中の自己管理には十分注意を払うこと。
3. 実習衣は清潔感を保持すること。
4. 手指等は常に清潔にすること。調理作業前及び途中でも手洗いを励行すること。備え付けの消毒液を使用すること。
5. 調理中及び配膳中の私語は慎むこと。
6. 院内を電動車椅子等で移動される患者様がおられますので、十分注意を払うこと。
7. 質問等はまとめて代表者がおこない、節度ある態度で実習を終了するよう努力すること。

〇〇保健センター 実習プログラム

日にち		内 容
6月13日 (月)	AM	妊産婦栄養講座①
	PM	オリエンテーション・老健、母子保健について
6月14日 (火)	AM	転倒予防教室
	PM	3～4か月児健診
6月15日 (水)	AM	食生活改善推進員
	PM	食生活改善推進員の役割等の話
6月16日 (木)	AM	運動セミナー中級コース
	PM	支援センター保健師の話・実習準備
6月17日 (金)	AM	妊産婦栄養講座②
	PM	3歳児健診・まとめ・反省会

〇〇薬局 実習スケジュール

日時	午後	午後
3月7日	糖尿病専門クリニックにて 栄養指導見学	インスリンメーカー勉強会 調剤補助
3月8日	在宅訪問看護見学	薬袋記入 自己血糖測定器の使用法指導見学 ジョーバ試乗
3月9日	糖尿病栄養指導見学 薬袋記入	レセプト処理の仕方について 一般医薬品の値段貼り
3月10日	薬歴簿のレセプト処理	薬局での保険点数について お薬お伺い書の改良
3月11日	レセプト処理 薬袋記入	薬局ミーティング参加 NRについて
3月12日	集中糖尿病教室見学 個別栄養指導見学	

7. 学生の感想・反省

病院で実習を終えた学生の声

病院での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

<臨地実習Ⅰ（臨床栄養）>

1. 栄養マネジメント

- ・実際に栄養相談報告書を書かせて頂き勉強になりました。
- ・パソコンを借りて残食調査や嗜好調査のアンケート用紙を作り、実施することができ、患者様と直接接する機会が多かったと思います。
- ・直営と委託の管理栄養士のやりとり・連携を見ることができた。
- ・褥瘡回診を見学できてよかった。この病態は管理栄養士がしっかりと栄養管理しなければならないと思った。
- ・STと嚥下訓練、患者様の意識レベルの改善ができて感動した。人間にとって「食べる」という行為がいかに重要であるか再確認できました。
- ・外来栄養指導・ベットサイド栄養指導も多く、指導の仕方やどのような方が指導に来られるのか知ることができ、指導記録を先生と一緒に書かせてもらい勉強になりました。
- ・直営の管理栄養士と委託の管理栄養士の両方の仕事内容がわかってよかったです。
- ・病院だけでなく、院外での勉強会や老健施設なども見学させていただき、老健の管理栄養士の仕事内容についても学ぶことができました。
- ・病棟へ行ってどんな患者様が入院しているのかを知ることはとても大切だと思った。
- ・栄養指導の際、ただ問題点をあげてどうしたらよいのかだけを教えるのではなく、どのような行動をどのくらい行えばよいのかのように、具体的に教えることの大切さを再確認できました。
- ・ダウン症や離乳食に関しての集団外来を見学させていただいたことが良かった。そこでは、栄養士の他に、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士の先生方が参加していました。そして、患者様を観察した後、それぞれの先生が異なる知見から意見を出し合い、今後の治療方針を決めていました。栄養士と他の職種の間わり方について学びました。
- ・外来栄養指導や糖尿病教室に参加させて頂き、管理栄養士の指導方法を間近で見ることで患者様に解りやすく説明する事の難しさ、食事制限を続けていくための動機付けの重要性など栄養指導時に大切な点を学んだ。
- ・ロールプレイ演習では知識や語彙力のなさ、臨機応変に対応できないなど自分の弱点を再確認することが出来ました。これにより今後自分がどんな能力をつけるべきか・どんな努力を重ねたらよいか、おぼろげながら掴めた。
- ・病棟訪問の前に電子カルテや喫食量などを調べることを実際に経験し勉強になりました。
- ・電子カルテで様々な情報を入手できるので便利だと思いました。
- ・研究テーマで自由に課題を設定できるのがよかった。
- ・個人情報の取り扱いが徹底されていて、その重要性を理解できました。
- ・栄養指導では、直接患者様の表情を伺える機会も有り、指導するにあたって患者様の不安ややる気、または理解度を確認しながら栄養指導する必要性を理解できました。

2. 患者様とのコミュニケーション

- ・ 患者様とのコミュニケーションがとても大切だと感じた。
- ・ 実際に病棟への栄養指導やおやつ配膳の際に同行させてもらい、患者様とどのように接しコミュニケーションをとればいいのか学ぶ事ができました。
- ・ 担当患者様を持たせてもらえ、最後にその方のための献立を作り勉強になった。また患者様に合ったコミュニケーションのとり方などが学べた。
- ・ 最後の方には、患者様の名前と顔が一致してきたので、残食を見て食欲ないのかな？完食したな！などを考えることができました。
- ・ 実際の患者様のカルテを見させていただき、それを参考に患者様にお話を聞きに行ったりしました。
- ・ 病棟訪問をして、患者様とコミュニケーションをとることで症状を知り、食事の改善に結びつけることの重要性を学んだ。
- ・ 患者様に不快な思いをさせないように、言葉選びの大切さを教わった。
- ・ 糖尿病教育入院と透析室の見学では、患者様とお話しさせて頂く機会があり、患者様にわかりやすい表現で会話すること、患者様と視線の高さを合わせて話しをする等、話し方・質問の仕方を勉強することができました。
- ・ 嗜好調査や残食調査など、患者様とお話しすることが多かったため、話し方や接し方、コミュニケーションなどについてよく学ぶことができました。
- ・ 栄養指導は栄養や疾患だけでなく、カウンセリング能力が必須であり、短い時間の中で患者様の状況を把握し、患者様が聞きたいことは何か、患者様が日常生活の中で実行可能なことは何かなど判断し、指導していかなくてはいけないと感じた。実際にやってみると、患者様からの突然の質問がありなかなか難しいと思った。
- ・ 栄養指導を通して患者様の生の声を聞くことにより、患者様の抱えている問題の現状を把握することができてとてもためになりました。
- ・ 栄養指導対象の患者様には様々な『症状』の方がいますが、同時に様々な『タイプ（性格）』の方がいます。患者様によって接し方を変えていく必要があり大変であることを実感しました。
- ・ 問診一つにせよいかに短時間で必要箇所を聞き出せるかとても難しくこれをスムーズに行うには何よりも経験が必要であると痛感しました。
- ・ 患者様と話す機会をたくさん与えて頂き、とても良い経験ができた。
- ・ 患者様の性格に合わせて喋り方を変えたり、患者様とよく話をしてどのような食事なら食べられそうか聞いたりしており、患者様とどう接したらよいか学びたかった自分としてはとても有意義な勉強ができました。
- ・ 栄養相談の進め方や話のまとめ方について学ぶことが出来ました。小児の場合、親御さんからの情報収集がポイントだと思いました。
- ・ 糖尿病教室に参加させてもらい、「糖尿病患者の外食の取り方」について発表しましたが、患者様にわかりやすく、丁寧に説明することの難しさを実感しました。

3. NST

- ・ 初めて実際に NST を見る事ができ、どのような流れなのかなどを学ぶことができました。
- ・ 褥瘡回診など ST（嚥下障害）訓練の際には、医師の方と看護師の方と一緒に管理栄養士の方も立ち会い、その場で栄養状態の話や看護方針を変更・進行していくさまを見ることができました。
- ・ NST 立ち上げ中だったので、栄養ケアプラン用紙の作成などにも関与させていただき、とても勉強

になりました。

- ・ 集団指導の見学をした際には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士という他職種との連携を見ることが出来ました。それぞれの職種の見解や着眼点を知ることが出来て、とても興味をそそられました。特に臨床心理士の見解にとっても興味をいただきました。
- ・ NST やカンファレンスなど、見学できて為になりました。
- ・ 他部門との連携に関して、カンファレンスに出席させてもらったのですが、他職種から見た患者様の状態などの情報交換ができていたようでした。職種によって見ているポイントも違うし、専門分野が異なるので、聞いていて勉強になりました。
- ・ 実習内容はとても充実しており、特に NST に参加出来、大変貴重な勉強が出来たと思います。
- ・ NST ラウンドは週に 2 回程行って、患者様の日頃の体調状態や食事についての感想を聞くことができた。
- ・ 他職種の方々のお話をうかがえたことでは、他職種側からみた栄養士の役割、要望、連携について知ることができた。
- ・ NST とクリニカルパスはまだ始まり段階ということでしたが、立ち上げるためにはどういうことをしているのかを見ることができたのでよかったです。
- ・ 栄養科だけでなく他の医療関係者の話を聞くことが出来て良かったです。
- ・ 他の部門とも良い関係が作られていて、NST を積極的に取り入れていることを知ることができました。

4. 施設・指導者

- ・ いろいろな場所（薬局、透析センター、保育所など）を見学し、嚥下造影や NST に参加させていただけただけで貴重な体験ができてよかったです。
- ・ 他部門の見学もあり、医療スタッフが一丸となっていることが実感できた。
- ・ 栄養科と他の部署や病院と地域などの繋がり、連携によってより良い地域医療・医療発達を目指せるという事を学ぶ事が出来た。
- ・ 急性期型の病院、長期療養型の病院、健康診断(ドック)、血液透析の病院とそれぞれの病院を見学することができ、各病院の特徴や業務内容を知ることができたと共に、各病院における栄養士、管理栄養士の役割、業務内容について学ぶことができ、とても勉強になりました。
- ・ 中央検査部は栄養部の業務に関係することが多く、見学させて頂いて感動しました。
- ・ カンファレンスに参加させて頂いた事で医師の先生方の考え方を直に聞く事ができ、患者様に対する想いの強さを感じる事ができました。
- ・ 病院内は知らない人にも挨拶なり会釈をすることで挨拶を徹底していた。そのためか職員は病院内でとてもまとまっている感じがしました。またヒヤリ・ハットのようなリスクに対して医療安全委員会において多職種間で検討し、横のつながりがよくできている病院だと思いました。
- ・ 総合病院での実習であり、たくさんの職種の方が働いていて、視野が広がりました。他職種の方や調理師との連携の取り方、患者様との関わり方、全体の雰囲気など、視野を広げて、身をもって感じる事ができました。
- ・ 先生方の指導がとても丁寧で、自分が理解していない点がよくわかりました。
- ・ 栄養部門だけでなく、病院の様々な部門のなりたちや、仕組みなど、病院にあるものをほとんど見せてくださって、とても興味深いものでした。
- ・ ご指導いただいた先生方には管理栄養士としての必要なことを教えてもらうとともに、社会人とし

での考え方を学ばせてもらうことができました。

- ・先生をはじめ現場で働いている方々は、とにかく真剣に業務を行っていました。
- ・質問したことに色々答えてくださり、アドバイスもしてもらい、充実した実習を行えました。
- ・シラバスの内容がしっかりと学べる実習内容になっていました。
- ・間違ったことはきちんと注意していただけたのでよかった。
- ・栄養士の先生方は、わからない事に対して適切に答えてくださった。
- ・先生方の様々な経験に基づいたお話をうかがうことができ、とても勉強になった。
- ・検査室を見学させていただき、医療技術の進歩に驚いた。
- ・事務室に居るのではなく、病棟に居る管理栄養士を目指して頑張っているのが伺えた。

5. 感想・反省

- ・栄養科だけでなく、看護科、薬剤科、事務の方々が私たち実習生に対して好意的で、とても親切にして下さって感激した。また、院内で働いている方々がお互い信頼関係が築かれていると感じた。
- ・今までの勉強をまとめることができよかった。
- ・課題も出され、それに対するコメントもきちんといただけるので、病院における管理栄養士の役割や立場、やりがいなど学べた。
- ・自分の社会常識の無さを痛感し、とても情けなく思いましたが社会勉強にはなりました。
- ・大学の授業ではあまり学ぶことの出来ない小児疾患についての知識を得ることが出来ました。しかし、知らない疾患名ばかりで、はじめ戸惑うばかりでした。
- ・これから仕事をする上で、自分に与えられた仕事はもちろん責任を持って果たさなくてはならないが、その他に人を思いやり、尊重しあえる人柄やチームワークが大切だと感じました。これからアレルギーや食の嗜好により食事の幅が広がるとしたら、ますますチームワークを大切にしていかなければと思った。私も管理栄養士としては栄養の管理だけではなく、他部門・内部の栄養科の連携をうまく取れるよう内面も磨いていきたいと思う。
- ・医療人としての思いやり、やさしさを学ぶことができました。
- ・自分の弱点を知ることができよかった。
- ・日々のお仕事の補助や厨房内見学、NST・カンファレンスへの参加に加え、レポートの書き方や提出の仕方等の社会において必要な礼儀など、病院における仕事の他にも勉強になることが多く、たいへん貴重な体験をさせていただくことができました。
- ・とくに、この実習期間において実感したことは、今まで習ったことが身につけていないということでした。実習先の先生に質問されたことに関してきちんと答えられないことが多く、あまりにもあやふやな知識に自分自身びっくりしました。家に帰って、質問に答えられなかったことに関して調べようと、教科書や学校の先生方が作って下さったプリントを広げると、きちんと線が引いてあって勉強してある形跡が残っているということが多々ありました。
- ・VF検査を見学して、実際に物が食道を通過する流れを見ることが出来、また管理栄養士と一緒に同行する必要性を知ることができました。
- ・自分が作成した献立を患者さまに資料として渡したときに、「ありがとう、大切にね」の言葉をいただくことができ、「ありがとう」の言葉の重みを実感することが出来ました。
- ・心臓カテーテル治療や胃切除の手術を見学してもらい、貴重な体験をすることができました。
- ・在宅医療や医療講演など、他ではあまりできない貴重な体験をすることが出来た。
- ・アンケート調査をする事で患者様と実際に話す機会が持て、病院での食事の大切さがわかった。

- ・とても規律が厳しく、自分たちが学生として甘えていた部分が露呈しました。
- ・自分のいろいろな意味での覚悟の甘さを痛感できてよい経験になった。
- ・これからの病院管理栄養士はどうあるべきかを学ぶことができました。
- ・キャンプを通して、障害者の方が日常注意することや栄養面で注意することなど、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。

<臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）>

1. マネージメント

- ・実習中の7月は、七夕と土用の丑の日が行事食で、いつもとは違う食事を見ることができました。
- ・発注業務を見学し、実際にパソコンに入力をさせて頂いて、見ているよりも理解が深まりました。
- ・患者様の嫌いな物を別の食材で代用したり、他にもできる限りの要望を受け入れたりと個人対応がとても優れていた。
- ・その病院の規模（入院してる人数）にあわせ、低価格で良い食材を用いた献立を作成するには現場での長い経験が必要であることがわかった。
- ・化学療法により副作用を呈した方のための食事については学校では学ばなかったが、「さっぱりとした食事」を基本にした献立の立て方、展開方法を学ぶ事ができました。フルーツやアイス、酢の物を多用する重要さを感じました。
- ・アレルギーの方には柑橘系のフルーツ以外禁止という方もいました。色々な患者様がいたので注意が必要だと思いました。
- ・実習先の病院は給食業務が委託だったのですが、病院の栄養士と委託会社の栄養士との関わり方や仕事分担について理解することができた。
- ・調理現場での実習や課題のオードブル作成を通して、献立は調理する方の作業工程を考えて作成する、一度自分で試作品を作り改良を重ねるなど、献立作成における重要点を学べた。
- ・特別食の調理では食事の展開の方法や、ミキサー食、きざみ食など食事形態の異なるものの対応について学ぶ事ができました。
- ・帳票類について、実際の帳票と大量調理マニュアルを見比べる事で、記録事項が何に基づいた項目なのか知る事ができました。様々な帳票を見せていただいたので勉強になりました。
- ・様々な食事内容・形態を見られ、実際に作ることができた。
- ・患者様の立場になって考えること、食事は安全・安心・おいしいものである、ということの大切さを意識することができた。
- ・献立作成をさせて頂きましたが、大量調理に対応した献立作成の方法（油の使用量・食材の形態など）をもっと勉強し、理解した方が良いと思いました。
- ・栄養士指導業務と調理業務の両方を交互に行っていて連携もされているので、指示されている栄養素量やどのような食事が提供されているのか、全ての人が把握出来ていることがわかりました。
- ・衛生管理についてもかなり徹底をされており、現場ではしっかりと HACCP に基づく衛生管理がなされていました。
- ・発注や検収など食材管理、調理実習では常食、特食の違い、それぞれの献立作成上の注意点、衛生管理、調理における作業工程の一連の流れなどについてよく学ぶことができました。
- ・献立作成を、学校では気にしない点なども考慮しながらしたので、とても勉強になった。
- ・食札の食種分け、食事箋の入力を行うことで特別管理加算や病態に応じた食事について整理することができました。

- ・委託側の管理栄養士が献立作成を担当する際には、病院側の管理栄養士は一切関与しないと思っていたが、検食後の意見や献立確認などで献立作成に関わっていることがわかりました。

2. 施設・指導者

- ・委託の方も優しく接して下さり、包丁の正しい持ち方や切り方などを教えてもらえました。
- ・少しでも手が空いたときには食器洗いをするとか、ごみ捨てをするとか、台の上はこまめに拭くとか基本的なことの大切さを教えていただいた。
- ・実際に病院で働く、管理栄養士・調理師・パートの先生と共に作業をさせていただき、給食を提供するという一つの目的に全員が、尊重しながら協力しあっているのを感じました。
- ・調理師の先生方も非常に丁寧に指導して下さいました。
- ・指導者や厨房の方々がすごくやさしくて実習がやりやすかったです。
- ・調理業務は完全に委託されていたが、委託業者の先生方も大変丁寧に指導して下さいましたととても勉強になった。
- ・衛生管理が徹底されており、患者様に安全な食事を提供するためのリスク管理・衛生管理に特に力をいれていることがわかりました。
- ・管理栄養士も調理現場に立つので、調理に関する知識を十分に把握し、全体を管理する力を身に付ける必要があることがわかりました。
- ・ウェットタイプとドライタイプの両方の対応を見ることができ勉強になりました。
- ・温冷配膳車があり、実際に動かして使っているところを見ることができて良かったです。
- ・厨房が2階にあって虫が来にくい環境になっていました。
- ・デイサービスや、院内保育園での仕事も経験できました。
- ・現場のパートさん達の意欲を高められる指導をし、現場も気持ちを1つにまとめることが良い現場作りとなり、患者様にあったおいしく、安全な食事の提供につながると感じた。

3. 感想・反省

- ・自分で考えた献立を実際に一人で調理させていただきました。実際に作ってみると思ったより時間がかかってしまい、予定どおりに作れませんでした。また、食材の切り方や調理の手順で料理の見た目などが変わるのでよく考えなくてはと思いました。
- ・現場において大量調理を体験することで調理作業の流れを理解すると共に、管理栄養士として調理する方のことを考えて献立を作成することの重要性を感じました。
- ・料理は、たくさん出来るようにしないといけないと思った。
- ・様々な疾患の献立を作ることにより、疾患ごとに何に注意して献立を立てたらよいかについて学ぶ事ができました。
- ・靴をしっかりと履き分ける、爪を切るなど、衛生面に気をつける癖ができました。
- ・調理場での盛り付けの工夫や分担の様子、効率よく行う工夫について学ぶことができました。
- ・食事箋を受け取り、患者様のデータを入力することで、個々の食事内容が示された食札ができることや、献立、発注等、栄養管理はほぼ全てをコンピュータで管理しているのを見て、コンピュータを使いこなす技能も必要であると感じた。
- ・患者様の嗜好を考え、喜ばれるような食事の企画を提案していた。ただ栄養管理をするだけでなく、新しい事にもチャレンジしてみることも必要だと教えていただきました。
- ・アンケートや嗜好調査を行うことによって、患者様に直接食事に対する意見を聞ける場があった

のは、とても勉強になった。

- ・ 患者様のために食事の面から何ができるか、どうするのがいいのかを常に考え、様々な工夫をしていた。
- ・ 厨房では、細かい形態展開が実際に体験できるので理解しやすかった。
- ・ 栄養士が立てた献立を思うように調理するためには、調理師の方とのコミュニケーションを大切に、よい関係を築くことの重要性を学んだ。
- ・ 地域の食品や郷土料理・季節の食品を知らないと栄養指導はできないと感じました。また、料理のレパートリーや調理方法も知らないと栄養指導は難しいと感じました。
- ・ 調乳作業が出来た事は貴重な体験だった。
- ・ 調理場へ入り実際に下処理や盛り付け、配膳などを体験できたのはすごく勉強になった。
- ・ 現場での調理師の先生の切るスピードや調理の作業などに驚きました。
- ・ 厨房のベルト作業で一般食と治療食・形態食を同時に扱いますが、配膳の際にそれを間違わないようにするのが結構難しかったです。
- ・ 給食業務も栄養管理業務もとても充実した内容だった。
- ・ 検食やお弁当などを食べさせていただいてうれしかった。
- ・ アンケート調査をする事で実際に患者様の声を聞く事ができ、感謝の言葉から不満の言葉まで様々なご意見を頂けたので良い経験となりました。
- ・ 管理栄養士が一人だけですごく忙しいのに、質問したことにしっかりと答えていただいた。また、やりたいことを言えば時間をさいて付き合っていていただけですごく有難かった。
- ・ 調理師、助手の方々からの立場で栄養士のあり方などを教えていただいた。
- ・ 就職へのアドバイスや、学生時代の実習の話などもしていただいて参考になった。
- ・ 他大学生との合同実習だったので（一週間サイクルで4人×3班）新鮮さがあった。
- ・ 病院での管理栄養士・栄養士の役割について実際に学び、体験することで業務内容を肌で感じる事ができました。
- ・ 自分の知識不足を感じました。
- ・ 献立作成や栄養指導するためには、各疾患の病態の把握が不可欠であると感じた。
- ・ 病院での管理栄養士の業務内容を細かく知ることができ、病院で働く管理栄養士のイメージが良い方向に変わったので良かったです。
- ・ 管理栄養士の重要性・必要性をしっかりと感じ、知ることができとても良かったです。
- ・ 事務業務をこなすことも管理栄養士にとって欠かすことの出来ないことだと深くわかりました。
- ・ 今まで教科書で学んできたことよりも応用力を試されるようなことをたくさん質問され、満足に答えられず自分の甘さを痛感した。

特定給食施設で実習を終えた学生の声

特定給食施設での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ 初日は緊張したが、親切な方ばかりだったので自分のペースで実習できた。
- ・ 実習が始まる直前に、白い長靴が必要だということがわかってあせった。
- ・ 授業で学んだことと、実際の現場との差などを感じる事ができた。
- ・ 厨房で働いている人は調理師だけでなく自衛官の人もいるのだが、みんな調理のことに詳しく、知識をもっていた。
- ・ 考えた献立についてコメントをもらえたので自分の改善点について学ぶことが出来た。
- ・ 給食施設における管理栄養士の業務について理解が深まった。
- ・ 規格どおりの食材が納品されず、使用当日に下処理をした。とても忙しかったし、厨房内がピリピリした雰囲気だった。検収の大切さ、納品ミスを与える影響を体験できた。
- ・ 管理栄養士の先生が先輩としてのアドバイスとして、これからの自分に生かせそうな話をいろいろ聞くことができた。
- ・ アンケートをさせてもらったので、喫食者の意見も知ることができ、すごく良かったと思う。
- ・ 食材の購入が入札により行われていて、一番安く食材を仕入れることのできる業者から購入していた。しかし、安くても食材が悪くては困るので、検収をしっかり行い、変な物を入荷しないようにしていた。また、一番品質に差の出る米は、業者が変わる場合は現地まで足を運び、米が精米される過程のチェックまで行い、品質チェックが徹底されていた。そして、普通は栄養士が発注業者を決めるが、業務が細分化されているので、会計の人が入札の調整をしていることがわかった。
- ・ 特定給食施設では栄養指導が行われていないと思っていたので、卓上一口メモなどで栄養・健康に関する情報を隊員の人に発信しているのに驚いた。
- ・ 自衛隊の栄養基準や実際のずれなどについて教えていただき、現代の若い人の好き嫌いの問題、残食など様々な問題があることを知った。
- ・ 毎朝、栄養士の先生がその日の献立・食材のポイントについて説明されており、栄養部門だけでなく調理師の方々にも栄養のこと伝えている様子がわかりました。また、栄養部門と調理部門がどのようにコミュニケーションをとっているのか学べました。
- ・ 栄養士さんと調理師さんの信頼関係と連携がいかに重要か理解できた。

2. 施設・指導者

- ・ 施設の方々は、皆様とても良い方ばかりで、優しくしていただいたのが印象に残っています。
- ・ 集団給食においては、スピードが重視されると感じました。
- ・ 旬の食材や盛り付け図の彩りなど献立を作成する上で、栄養計算の数字にばかり気を取られてしまっていたことに反省しました。
- ・ 給食施設における管理栄養士から、現場のスタッフに対する栄養管理、栄養教育の難しさを思い知りました。
- ・ 発注をするにあたって事細かに明記された規格資料があることを知り、さらに、1つの食材に多くの種類があるなど、食品について多くの知識が必要だと感じました。

- ・ 献立は月に1、2コ新メニューが入る。以前からあったものは、前回のものに味付けの濃さなど改善がほどこされる。
- ・ 盛り付けを、きれい且つ早く盛るのは、かなり大変であり、その必要性を他の調理員などの理解を得て、実行してもらうのは、とても大変であるのだと知った。
- ・ 施設内に管理栄養士が一人なので、ほとんどの栄養業務をこなすのが大変そうだった。
- ・ 食材の発注のことや検収のことも学ぶことができて良かった。
- ・ 食数がかなり多いので、仕込みなどの技術がだいぶ上がったと思う。
- ・ 職場の雰囲気良く働きやすく、質問もしやすかった。
- ・ 大釜、ベルトコンベア式のフライヤーや焼きもの機などの大量調理器具を使つての調理が経験できてとても良かった。
- ・ 厨房内に冷房は無かったが、厨房が広く風通しがよく、また、フライヤー付近にはスポットクーラーがあり、比較的快適に作業ができ、非常に衛生的だった。
- ・ 給食の規模が大きいため給養小隊とは別に衛生隊が存在し、その他にも検収専属の隊員がおり部門が細分化されていた。
- ・ 初日は広報の方に基地内を色々見せて頂き、2日目以降の午前は調理場に入り、午後は実習所や講話を伺うといった室内作業が主だった。
- ・ 病院と違い、「健康な成人」に対する栄養的な問題を抱えている、ということが理解できた。
- ・ 給食は生徒と一緒に食べ、そのときの担任の先生がどのようにして生徒に指導しているのかがとても勉強になりました。
- ・ 同じ学年でも成長段階が違うので、食べ方を見るのもいい勉強になりました。
- ・ 給食施設はウェット方式でしたが、ドライ方式として使っていたので色々な工夫を見ることが出来ました。
- ・ 1カ月後の学校最終日の献立を実際に立て、作業工程表、発注表などもすべて作らせていただいたので、流れがよくわかりました。
- ・ 栄養士の方を始め、調理師の方や隊員の方など皆さん親切に指導して下さいました。
- ・ 事前課題として提出した献立も添削してから返却してくださり、改善すべき点などがわかり勉強になりました。
- ・ 自衛隊における給食業務や栄養士の役割について説明していただいだけ、理解することが出来ました。
- ・ 技官の先生が色々工夫なさっていることを、食事中（隊員食堂と一緒に食べる）に伺い、教えて頂いた。喫食率だけでなく、衛生面などのことも絡めて教えてくださるので、とても勉強になった。
- ・ 材料の切り方なども指導していただいだけ、色々な事を身につけることができた。
- ・ 調理場では作業している方が皆、やりやすい方法など気づいたことがあったら親切にアドバイスしていただきました。
- ・ 栄養士の先生が毎回食材についての課題を与えて下さったので、食材にどのようなものがあるのか（形態、加工品、種類等）調べる機会が増え、食材・食品に対する関心がより強くなりました。
- ・ 受け入れ先の先生方や、調理員のみなさまが、実習にとっても協力していただいていると感じられ、やさしく接して下さって嬉しかった。
- ・ 1000食以上も調理をするということで今まででは経験が出来なかった調理現場を経験できたのはとても良かった。また、1000食も調理をするということで献立そのものが一種のマンネリ化をしていると思ったが、非常に豪華でバリエーション豊富な献立に正直驚きました。

3. 大量調理

- ・ 実際に調理の現場で働いている方々は、パートさんで、一般の方々が持っている衛生管理に対する知識と言うものを、改めて実感することとなりました。
- ・ 衛生管理は施設の対象者の違いによって衛生管理の段階が違うのが勉強になった。
- ・ 初めて1500食を扱ってみて、それを作る食材の量と調理された食事の量の多さに驚きました。また、1500食の調理を行っている方々の人数が少ないことにも驚きました。
- ・ 集団給食調理を効率よく、時間を無駄にせずに行うための食材選びの方法と、栄養不足を最低限に抑えるための食品選びの方法について学ぶことができ、これからの献立作成の参考になりました。
- ・ 1500食以上の大量調理を行うので、ベルトコンベア式のフライヤーや焼もの機で作業効率を上げているのも初めて見る事が出来た。
- ・ 調理作業では、包丁の持ち方から習い、正しい方法で大量に切ったので包丁使いがうまくなった。
- ・ 大量調理が重労働であることが分かり、自分の体力のなさを感じました。

保健施設で実習を終えた学生の声

保健施設での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ 離乳食教室では管理栄養士の先生が準備を一人で行っており、大変さがわかった。
離乳食では3ヶ月、5ヶ月などで話が違うので難しいと思った。私は乳児とかかわることが今まであまりなかったので貴重な時間になりました。
- ・ 実際に母親学級などに参加することによって地域の住民の方とどのように接し、保健センターがどのような役割を持っているのかがわかりました。
- ・ 実際にいろいろな事業に立ち合わせて頂いたことにより保健センターでの管理栄養士の業務を知ることができ、保健師・歯科衛生士などの先生との連携の重要性も見ることができ良かった。
- ・ 授業ではわからないことが学べた。
- ・ 学校でのロールプレイングではわからないことがたくさんわかった。
- ・ 地域住民の前で話すのは初めてで、すごく勉強にはなった。
- ・ 食生活改善推進員の方々の活躍や実際に行っていることなどを見ることができて良かった。養成講座では、約50人の人が参加し、栄養や食に関する関心度の高さに驚きました。
- ・ 各種健康教室や栄養相談など貴重な体験が出来て良かった。
- ・ 食生活改善推進委員の養成講座にも参加させてもらって食生活改善推進委員の活動が見えてきてとてもよかった。また、歯についても講義を受けさせてもらって、とても勉強になった。食生活改善推進委員が中心となって行っていた地区活動の調理では、参加者の意見や食生活改善推進委員の話も聞くことができてよかった。
- ・ 実際に教室に参加することで保健センターの流れや栄養士の業務・役割・立場を学ぶことができ、自分の視野が広がった。
- ・ 妊婦さんを対象とした両親学級では歯科衛生士の先生の話と一緒に聞かせてもらえた。栄養相談では「貧血を予防しよう」と題して妊婦さん達に説明する貴重な機会をもらえた。
- ・ 両親学級で実際に発表や、栄養指導をしてよい経験になった。自信を持って栄養指導できるようになりたいと思った。
- ・ 糖尿病予防教室で医師の講義を聞くことが出来て、糖尿病について更に理解が出来ました。
- ・ 問診や指導などに関しても、参加者の方々のやる気を引き出すための手法を間近で拝見することができとても勉強になりました。
- ・ 保健センターは住民の方に対して親身になって相談をする温かみのある所だと思いました。
- ・ 実習はやはり積極的に動き学ぶのが自分のためになると改めて実感した。
- ・ どんな資料を作り、どんな説明をすれば一般の方にわかっていただけるのかをすごく考えて実習に望みました。学校とはまた違った感じでいろいろなことを考えることができた。
- ・ 地元で実習でき、自分の町の保健センターがどのようなことをやっているのかわかることができました。住んでいながら知らないことが多かったので良い機会でした。
- ・ 子供とのコミュニケーションのとりかたをおぼえた。
- ・ 地域に根差した取り組みをたくさんおこなっており、保健センターでの管理栄養士の業務の他にも

様々なことを学んだ。またその取り組みの一つである言葉の教室(失語症や構音障害のかた対象の教室)や遊びの教室(親子の関係が上手くいかない人や発達に遅れが見られる子供さん対象の教室)に参加させて頂き、とても貴重な体験・経験ができました。

- ・一人一人状況や質問が違う中、適切に先生は答えていらして、母親に対する接し方や雰囲気作りなど、とても勉強になりました。
- ・母親学級では食事摂取調査のデータをまとめ、その結果に対して私達が一言ずつ指導させていただきました。とても素晴らしい経験ができました。
- ・栄養指導媒体の作成を体験させていただきましたが、一般の方にわかりやすい媒体にすることの大変さを理解できました。一般の方は専門的な表現ではわかりにくいので、簡単な表現に言い換えて作成するのが難しかったです。
- ・1歳6ヵ月健診時の「おやつ試食コーナー」に参加させていただきましたが、栄養士として子供の食事や栄養に関して(好き嫌いや食事量等)お母様方に聞くことの大切さを学びました。
- ・大学では成人に対する栄養指導を中心に勉強していたが、幼児の栄養指導や離乳食を食べてもらいながらの指導などは初めてで、実際の現場での体験ができたことは、とても勉強になった。
- ・個室でのマンツーマンによる食事指導に同席できて、大まかな流れがつかめた。
- ・健康診断や健康相談などの時に用いる資料作成が想像以上に大変だった。
- ・学校ではほとんどやらない資料作成をすることができ、貴重な体験が出来てよかった。
- ・生活習慣病予防相談や様々な検診など実習期間中に行われたすべてのイベントに対し細かい説明や、近い場所での見学もさせていただき、とても勉強になった。
- ・3ヶ月、4ヶ月健診では、栄養士、保健師、医師、などの職種との連携がきちんとなされていて、最後の会議(反省会?)の話し合いは、すごく勉強になった。

2. 施設・指導者

- ・栄養士の先生以外の先生方も熱心に指導して下さった。
- ・研究発表後、保健師・管理栄養士の先生にアドバイスを頂き今後の勉強になった。
- ・保健センターの先生方はとても親切でいろいろな事を教えていただいた。
- ・先生はとても優しく、わからない所は直ぐに答えていただけたのでよかった。
- ・実習書の実習指導者コメントの欄に毎日、コメントをたくさん書いていただいた。
- ・理学療法士の先生などの普段接する機会がない、栄養士以外の専門職の先生と関わって勉強になりました。
- ・実習自体に関しても、横で見学させていただくものから、実際に参加して体験するものなど内容はさまざまで、とても密度の濃い実習を行う事が出来ました。
- ・保健センターで働くみなさんは住民からの相談にも親身になって受けていて、すごく前向きで元気で明るい感じがしました。
- ・他職種の方から見た「これからの管理栄養士」に対する、考え・望み等のお話をうかがえた。
- ・どの先生にも親切・丁寧に指導していただきました。
- ・担当の先生やほかの職員の方々が気さくな人たちで実習自体がとても楽しめてよかった。
- ・担当の管理栄養士の先生が丁寧に、親身に指導して下さったので楽しく充実した一週間を終えることが出来ました。また担当の先生以外の方も親身に声をかけて下さった。
- ・実習施設の先生方はとても話しやすく、緊張することはあまりなかった。
- ・管理栄養士の先生方から、保健相談センターで行われている保健事業計画の概要について、詳しい

所までしっかり教えていただきとても判りやすかった。

- ・ 指導して下さった先生は、とても忙しい中、丁寧な指導と説明をして下さったので良かった。
- ・ とても新しい施設で、施設にいらっしゃる方の考え方も新しいものだった。
- ・ 所長先生が「これからは栄養士が一番大事な役目を担っている」と仰ってくださり大変嬉しかった

3. 反省点

- ・ 4日目に骨粗しょう症についての発表の場を与えていただいたのですが、今まで学校でプレゼンテーションの練習をしてきたとはいえ、一般のかたがたの前での発表は初めてだったこともあり、緊張してうまく話せませんでした。
- ・ 骨粗鬆症予防の食生活についての講義時間40分中、30分を学生で講義をさせていただいたが、反省点ばかりだった。
- ・ 媒体作成能力がなかった。
- ・ 管理栄養士の業務は幅広くあり、大変そうでした。対象者も小さな子供からお年寄りの方まで年齢も様々で多くの知識が必要であるとわかった。
- ・ 学校のレベルでの媒体ではだめ。地域のひとにわかりやすいように工夫したつもりであったが、自分たちでは気がつかなかったポイントを先生に指摘されて、地域での集団教育の回数を重ねている人ではないとわからないようなことが多く、ご指摘をたくさんうけたが勉強になった。
- ・ 乳児や幼児と接する機会があまりないので、どう接したらいいか戸惑った。
- ・ たくさんの人との交流があるのでコミュニケーション能力が必要だと思った。年配の方などなにを話したらいいのか戸惑った。
- ・ 管理栄養士、保健師、歯科衛生士の方などがよく連携をとり教室がスムーズに進行されていたのを見て、打ち合わせの時点で各部門が細かいところまでつっこみ、計画を立てていた成果だと感じました。また、そのつっこみがかなり深いものであったことから、自分が学校でやってきたようなことでは甘いと痛感しました。
- ・ 学校での臨床栄養学実習などを振り返り、実習書を読み返すことなども必要だと思いました。
- ・ 1歳6ヶ月児検診では、お母さん方にアンケートに協力していただき、また食事のアドバイスや相談も実際にさせてもらって、乳幼児の分野はまだまだ勉強が足りないと感じた。
- ・ あるプログラムの研修中（0～2歳児を対象とした遊びの広場にて）に「このプログラムで栄養士が関わっていくとしたら、と考えたらもっとよかったと思う」とご指摘があった。私自身、そのプログラムでは保健センターと育児のつながりについて学びたいと思うことで精一杯だったので、考えや姿勢が足りなかったと反省している。

薬局で実習を終えた学生の声

薬局での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ 今回の実習では、薬局業務や概念を知るとともにたくさんのことを学ぶことが出来、とても良い社会勉強が出来たと思います。
- ・ チーム医療の重要性をとても理解していた先生だったので、指導していただいたことすべてがとても勉強になりました。
- ・ 普段見ることの出来ない調剤室の中や薬品の保管庫を見学させていただき、教科書で習ったものを実際に見ることができ、とても印象深かった。
- ・ 投薬指導の様子も拝見させていただき、患者様とどのように会話をしていくか、というコミュニケーションの大切さが勉強になった。
- ・ 病院という閉鎖された空間ではなく、薬局という開かれた場での日常的な栄養指導というのが求められているのではないかと感じ、今後のドラッグストアでの管理栄養士の必要性を感じた。
- ・ 薬剤師であろうが、栄養士であろうが、ひとたび売り場に出れば、「薬の商品」について、お客様に聞かれることは同じなので、栄養士にも薬剤師並みの薬の知識が必要であると思いました。
- ・ お客様に健康について質問することによって、一般の人が考えている健康に対する考えというものを肌で感じる事が出来た。
- ・ 薬局業務では、一つ一つの業務に対して自分の出来ることを見つけ行動に出ることが出来ました。しかし、患者様と接する時などにおいての発言が少し欠けていた部分もあったので、その点は反省し今後の実習などに活かしていきたいと思います。
- ・ 今回の実習を終えて、もっと薬局業務について知りたいと思ったし、食べ物と医薬品、病態の事について勉強しようと思った。
- ・ 栄養相談を進める上で、患者さんと自分を置き換え、マイナスなことばかり言うのではないこと、視覚に訴えることなど多くのことを学びました。
- ・ 今まででは薬局の栄養士になりたいとは思いませんでしたが、実習を行って、薬局の栄養士に興味を持ちました。
- ・ 実習中、模擬栄養指導をさせていただきました。いろいろとアドバイスをしていただき、改善すべき点がありました。大学で学んだことだけでは不十分でした。
- ・ 管理栄養士の先生が実際に患者様から受けた質問の具体例を示していただけたので、私たちの視点からだけでなく、患者様の視点からも物事を考えることができました。
- ・ サプリメントに関わるディスカッションを行いました。サプリメント普及の背景や良い点悪い点、今後の課題、栄養士が気を付けなければならないこと、注意点など考える良い機会となりました。
- ・ 栄養士の立場だけでなく、薬剤師の立場から患者様への接し方や考え方を知ることが出来、大変勉強になった。
- ・ 患者様にはいろいろな人がいるので、投薬指導でも栄養指導でも一人一人の性格を考えながら上手に進めてもらうように説明することは大変だと思うがやりがいのある仕事だと感じた。
- ・ 医療の現場において、患者様のことを第一に考えるの大切さを実感しました。
- ・ ロールプレイングなど、人前で発表・発言する機会をいただけたので、自分にとって大変良い経験

となりました。

- ・私の場合事前にメールで連絡をとっている際に、実習で何を学びたいかを聞いて下さったので、実習課題を自ら考え予め伝えておいた方が、自分も学び甲斐があり、先方も実習スケジュールを立てやすく良かったと思いました。またコミュニケーションもとりやすくなったと思います。
- ・実際に患者様と接したことで、食事に関してテレビや雑誌に書かれていることを鵜呑みにしている患者様が多いことを知った。
- ・高齢者に対しては、飲み忘れがないよう、薬を一包化したり、錠剤が飲めない方にはつぶしたり、などの工夫がされていたことも知り、食事のことで薬のことが関連付けられました。
- ・栄養士の視点から当施設で力を発揮するとするならば、ベビー用の飲食品やサプリメントなどのいわゆる健康食品や特定保険用食品、またそれと薬との相互的な関連用品を季節や時期・地域・客層・時間帯に合わせて販売することだと感じた。
- ・これからの管理栄養士像の話は特に熱心に話していただき、自分のこれからの栄養士としての考え方にも影響を受けた。
- ・相手にいかに解りやすく、丁寧に話すことが難しいのか、どの程度の話しをしたら良いのかを考えるいい機会でした。

2. 施設・指導者

- ・“患者様（一般人の方）に分りやすい表現“で話すということの難しさを知った。
- ・各部門の方々が発注・品出し・レジ・接客・店内全体の情報を密接に連携し合って、お客様のためのごことをととも考えていらっしゃるということがよく伝わってきました。
- ・朝会で、商品販売のデモンストレーションをし、きちんとお客様のことを考えているということを実感した。
- ・商品の試飲をやらせてもらったり、自分で興味のあることについて調べプリントを作成し、それをお客様に説明したり、お客様とコミュニケーションがとれたのでよかった。
- ・服薬指導の際、患者様と接するときには必ず目を見て、患者様が自分で飲んでいる薬がどのようなものかを親身になって指導していた。
- ・施設見学を兼ねての事前教育をしてもらえたら商品の配置が分かってよいと思う。初日からお客様に商品の場所を聞かれてお客様にもお店の方々にも手間をとらせてしまった。
- ・クリニックにおいての糖尿病栄養指導の見学では、患者様にどのように接することが栄養士に大切なことか、また患者様に対する発言の一つ一つに重要さがあることを知ることが出来ました。そして、指導する側の方が機械的な態度もしくは無理強いをさせなければ、患者様が心を開くことができるのだということを実感しました。在宅訪問看護では、実際に看護・介護の仕事を見学させていただき自分自身がイメージしていたものとの違いを知ることが出来ました。
- ・糖尿病にとどまらず貧血の献立を立てたり、腎臓病の献立を立てたり、カルシウムの多い食品をまとめたり、胃にやさしい食品をまとめたり幅広く栄養に関して行えたことがとてもよかった。
- ・病院と薬局の栄養指導は似ているようで全く違い、患者様のニーズに合った栄養指導が大切だと感じた。疾患1つとってもいろいろな患者様がいたので、同じことは言えないと思った。
- ・薬局における管理栄養士の業務がわかり、来局者の方と食事のことで話をする機会があり良い経験になった。
- ・実際の薬局における栄養相談は、実習に行く前はちょっとしたアドバイスをする程度だと思っていました。しかし、実際は、30分から1時間以上も掛けて行い、病院の栄養相談とあまり変わらない

と思いました。患者さんから提供される少ない情報から栄養指導をしていく難しさを感じました。

- ・薬剤師と栄養士の連携について学習することが出来ました。5回の栄養相談の内、3回は、薬剤師さんから進められて栄養相談をする方でした。食事については専門家にゆだねるという感じでした。
- ・本実習を行ったことにより、薬局における管理栄養士の役割や患者様とのコミュニケーションについて学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・毎日、「保険薬局」や「医療保険制度」、「医薬分業」、「薬物と食品の相互作用」など様々な講義を行っていただき、とても勉強になりました。
- ・保険証の受け渡しについて患者様とトラブルがあったので、取り扱いに注意しなければならないと思った。
- ・私が実習した施設は数十年で築かれていった全国規模のチェーン店・会社だったので、お客様への対応だけでなくお客様の見ていない調剤室、休憩室等の内部においても挨拶や声掛けが頻繁でした。そういう所には施設のプロ意識のようなものが感じられました。
- ・処方箋を実際に見ることが出来てよかったと思います。また、処方箋を見て薬を選ぶ補助が出来て薬剤師の仕事の一部を実際に体験できてよかったです。
- ・ひとつの店舗だけでなく色々なところに実習に行かせて頂き、各店舗、来店される患者様や、雰囲気の違いがあるので同じ調剤薬局でも違うということが分かりました。
- ・各店舗にて調剤のお補助をさせていただきましたが、初めてとはいえ足手まといにならなかったかがとても心配でした。その反面、調剤薬局などの特別な施設で働く以外では体験しえない貴重な業務をお補助させてもらって、とても充実した時間を送ることができ楽しめました。
- ・調剤薬局では単に薬を渡すだけではなく、患者様に服薬のアドバイス、食事のことを話してあげる（治療の手助け）ということに改めて認識しました。
- ・服薬指導とともに管理栄養士が食事指導が出来れば、さらに病気の治療の手助けが出来るのではと思いました。
- ・薬局においても栄養士の知識が欠かせないものであると感じた。学校を卒業してもまだまだ勉強することがたくさんあるということを実感した。
- ・薬局で相談が多い疾患に関してのケーススタディを行っていただき、疾患に関する専門知識（疾患・栄養治療・食品・調理に関しての）だけでなく、「患者様に分かりやすく伝える難しさ」を学ぶことが出来ました。
- ・薬局での栄養指導は、病院とは違いほとんど何も情報がないところから始めなければならないので、専門的な知識を持っているだけでは十分でなく、患者様との会話の中で情報を引き出していかなければならないので、たくさん経験を積んでコミュニケーション・スキルを高めていかなければならないと感じました。
- ・栄養相談シミュレーションをやってみて、とても難しかったが、自分の話し方の癖を知ることが出来たし、話の流れを作る難しさや、話を終わらせる難しさなどが実感できてよかった。
- ・管理栄養士が保険調剤薬局でどう必要とされているかを教えていただき、より実践的な指導をしていただけました。
- ・自主的に作成した文書を何度も何度も見て指導して下さったお陰で良いものができ、それを利用して栄養指導を行う機会を下さりとても良かったです。
- ・大学で学んできた栄養指導と現場で行われている栄養指導との違いに驚きを覚えました。また、5人の栄養指導を聞くことが出来ましたので、初回の栄養指導のケースやノート持参で受けられている患者様など、色々なケースの栄養指導を見ることが出来たのは本当に大きな経験となりました。

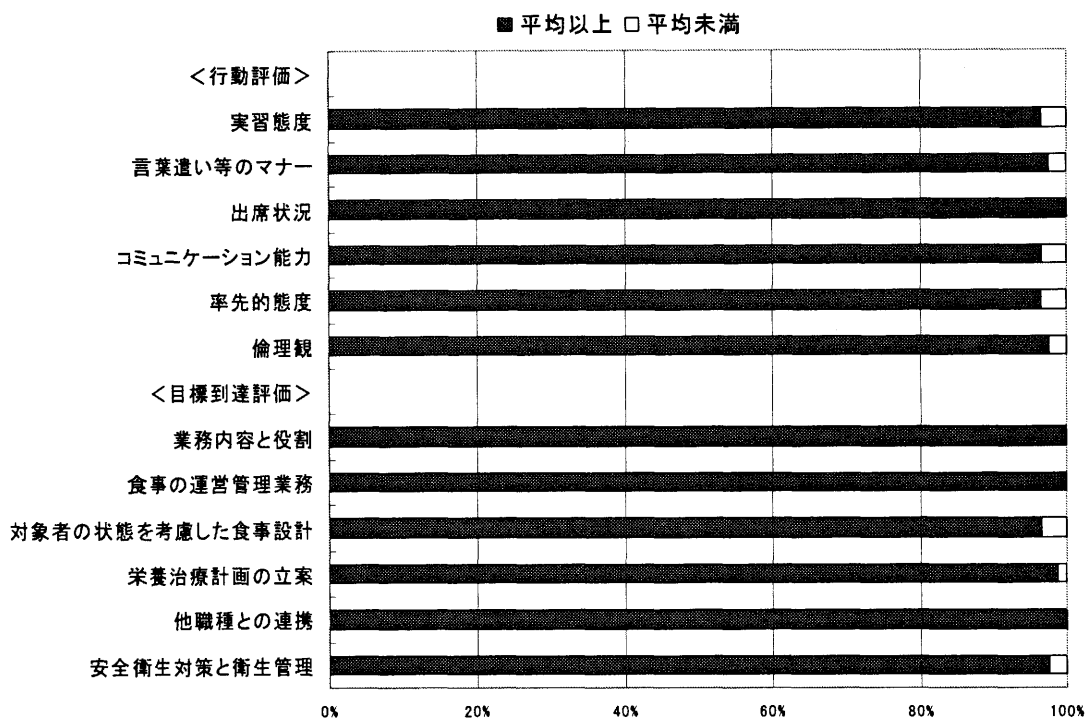
- ・事前に資料などを用意してわかりやすく説明する先生と、実際の栄養士の業務について経験や患者様のデータをもとに指導する2人の先生で、いろいろなことを学びました。
- ・今回は調剤薬局の実習をさせていただきましたが、各店舗がそれぞれ年齢層に合わせた造りになっており、施設の雰囲気作りにも重点を置き、力をいれていることを強く感じました。そして、そういった細かい事もお店の業績を伸ばすために大切であるのかとも思いました。

3. 商品

- ・ドラッグストアでは、医薬品や健康食品に関する知識を活かして化粧品や食品につなげていくことが大切であると思った。
- ・講義やレジ業務のときに、どの商品がどんな味がするのか、また、食品の特徴や注意点なども説明していただいたので勉強になった。
- ・ドラッグストアの栄養士に必要なものは、積極的な行動、サプリメントについての正しい知識、病者用食品の知識、薬と食品との相互作用、乳幼児の食事について知る必要がある。

8. 実習評価と意見・要望

臨地実習 I（臨床栄養）の評価とご意見

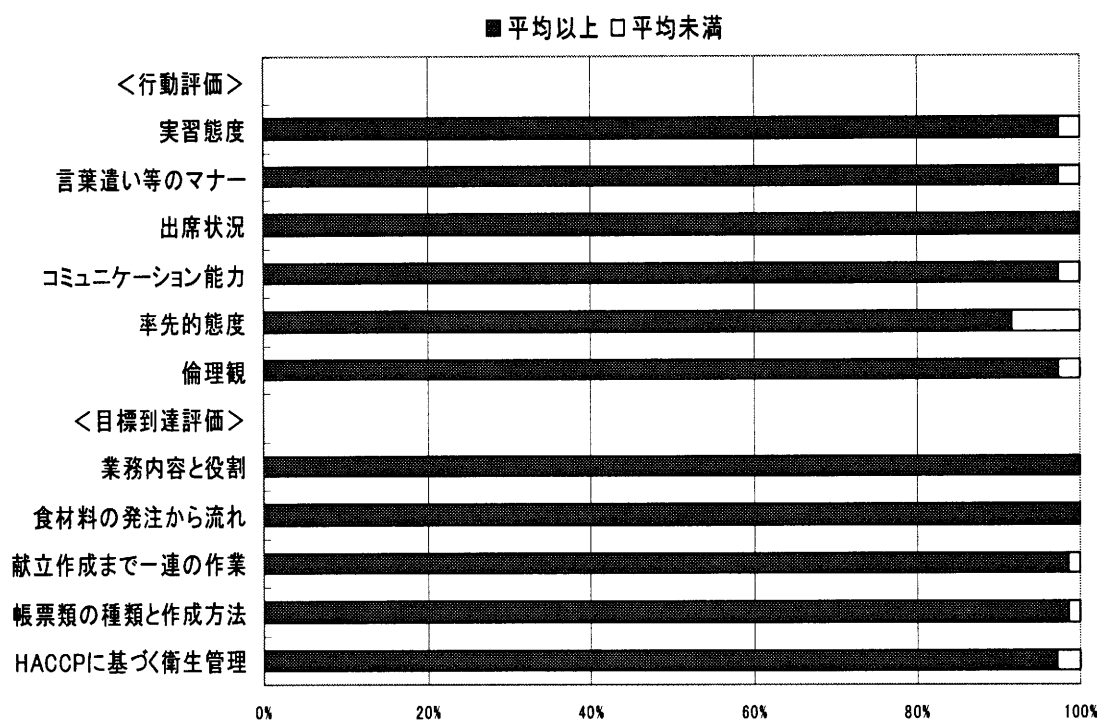


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 透析食の献立作成、患者さんへ実際に栄養指導を行っていただきましたが、提出期限も守り、予習をして実習に取り組んでいる姿が見受けられました。
- ・ 実習した内容について、大学で得た知識とつなぎ合わせて理解していく姿が見られました。実習の中で大切なことに着目していました。
- ・ 実際に患者様を受け持ち、アセスメントをして、患者様に何ができるのかを考え、患者様を良い状況に導くことで、管理栄養士としての喜びが生まれることを感じていたようです。
- ・ 実習班の責任者として、他の実習生をよく取りまとめたと思います。
- ・ 多方面にわたる実習内容でしたが、積極的な態度と質問もよくしていました。
- ・ 説明をよく聞いて、実習期間中与えられた課題等について真剣に取り組むことができました。
- ・ 管理栄養士の日々の実践的な業務を共に行い、カンファレンスや病棟訪問を通して栄養管理における、チーム医療の実践、患者への栄養指導の方法、カルテや検査値の見方に重点を置きました。
- ・ 挨拶、身だしなみ、言葉遣い等きっちりしており、実習生として前向きに取り組む態度が表れていた。
- ・ 病院における管理栄養士の業務を理解しており、特にコミュニケーション能力は優れており、栄養指導やチーム医療の場に発揮できると思う。
- ・ その日の疑問を必ず質問して1つずつ理解していこうとする積極的な姿勢が見受けられ、受入側としても大変やりがいを感じ、楽しい実習となった。
- ・ 臨床栄養に関する実習は、栄養部門のみならず、薬剤部、看護部、病診連携室等の協力を得、また、栄養管理委員会への出席、医療安全委員会、院内感染防止委員会等、主要な委員会からの説明、そして、市内の主な病院が参加する「食」に関する危機管理委員会への出席などを通して実習した。

- ・病室訪問、栄養指導では、もう少し元気があった方がよいかもしれません。
- ・他職種の方とも接していただきましたが、積極性に欠けました。
- ・3週間という期間の中では、初めての病院実習ということもあり、緊張していた所もあったようだが、積極性をもう少し表に出せるとさらに良かったと思う。
- ・生活感のある管理栄養士に育って、病む人々のお役に立つようになって欲しいと思う。
- ・体調が悪くて2日ほど休みましたが、自分が具合悪くても会議や委員会、まして栄養指導は自分が休むことは出来ないものなので、体調管理は大切にしてほしいと思います。
- ・1ヶ月間緊張がほぐれず、意思の疎通が出来なかったのは残念なところです。
- ・探究心については、その表現力がもう一押しあると良いと思われた。
- ・栄養士として何ができるのか、目標目的をもって頑張っていたきたい。
- ・現場において率先して実行することはなく、ただ見ていることが多かった。
- ・新しい課題に取り組む際や突発的な問題には、自信がなくてもできるだけきばきと処理できるように経験を重ねて欲しい。
- ・性格なのか、集団の中に入るとより大人しさを感じてしまう。
- ・栄養相談中に患者の前で居眠りをする状況で、実習態度に問題があった。
- ・実習書には客観的な分析ができているが、いざそれを発表させると、相手に分かりやすく伝えることが不得意という面がみられた。
- ・実習最終日に実習全般に対しての感想を発表する機会を設定しているが、人前で自分の意見をまとめ、分かりやすく伝えるという能力も平均以下であると思われた。
- ・調理された食事以外の食品を摂ってしまう患者様との対話から、質問を取り出す注意力も育つとおよいでしょう。
- ・「聞き上手」を意識して欲しい。
- ・栄養指導の実習では、はじめて会った患者ということで考えていたことが十分に伝えられなかったこともあった。
- ・実習の中で、何を習得したか疑問です。
- ・コミュニケーションの取り方を勉強して欲しい。
- ・臨床的な部分について、やや不勉強な点が見受けられた。
- ・臨床についての知識は身につけていると思われるが、それを適切な形で表現するなどの能力はまだまだである。
- ・臨床栄養についての知識も不足しており、人とのコミュニケーションも一生懸命さはみられるが、言葉遣い等が不適切なこともあった。
- ・実習書を見ると、給食管理、臨床栄養管理全般にいえることだが、自分の狭い価値基準だけで断定する傾向がみられ、結論に至るまでに、色々な文献や情報を収集するという経験・能力に欠けるため、浅い考察となっている。
- ・将来、薬局への就職を希望しているようなので、対象者に応じた簡潔なアドバイスが出来る管理栄養士を目指してほしいと思う。
- ・「対象者の状態を考慮した食事設計」「栄養アセスメントに基づいた栄養治療計画の立案」については、本人と話をしたが、基本的なことを理解せずに実習に入った様子だった。
- ・病態栄養に対する知識をもう少し高められたら良いでしょう。

病院における臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）の評価とご意見

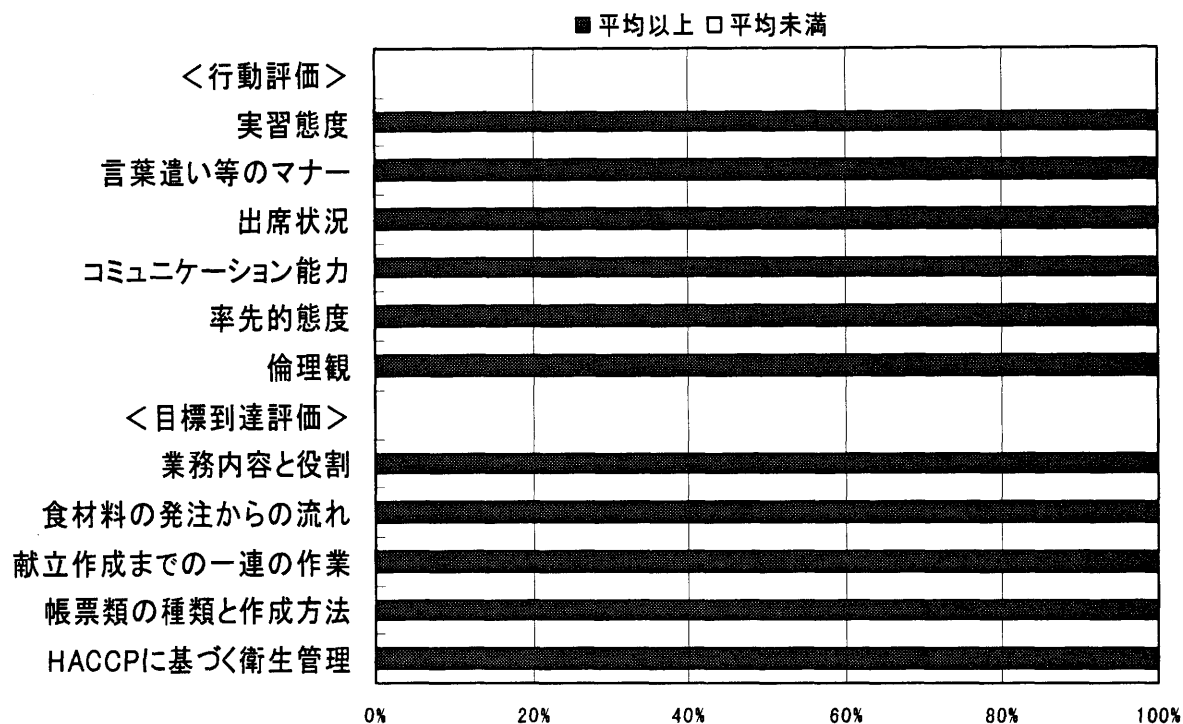


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 科学的根拠に基づいた作品である病院給食をプロデュースできる管理栄養士を目指して勉強してください。
- ・ 社会に出ていろいろな人と接触していく中で、専門家としての技術・知識を高めていって欲しい。
- ・ 包丁の使い方も慣れてきたようです。盛り付けもきれいに仕上げるように努力している姿が見受けられました。
- ・ 野菜の切り方も記入したメモを持参で取り組んでいましたのでやる気を感じました。
- ・ 実際の現場で、食品の流れから全体を見ているようでした。衛生管理についても興味を持ち理解しようとする姿が見られました。
- ・ 委託業務にも関心を持って、熱心な態度で理解を深めていました。
- ・ 栄養管理業務の把握及び一般食、特別食の調理等、個別の病態対応も実習しました。調理や食事の配膳ミスは患者の病態に大きく影響することもある。そんな事を頭に叩き込みながら積極的に臨床調理に取り組んだ点を大いに評価します。
- ・ 給食事務管理に関する理解では、細かい点まで深く見て考察する姿勢がみられ感心した。
- ・ コミュニケーション能力と業務処理能力に優れており、組織の運営の運営管理や給食事務管理に生かせると思う。
- ・ 率先して検収に出たり、献立について作成の流れを質問したり、とても積極的で、後半は頼りになるくらい一生懸命取り組んでいた。
- ・ 給食管理実習に関し、積極的に取り組み、行動評価および目標到達評価共に優良であったと思う。
- ・ 調理業務では盛り付け、配膳と一生懸命に行っている姿が見受けられた。

- ・ 事務管理や衛生管理については理解力もあり熱心に取り組む姿勢が見られた。
- ・ 厨房内では人が嫌がる仕事や、大変な仕事に取り組み、仕事を丁寧に仕上げている。
- ・ 調理師との会話の中で、言葉遣いに気になる部分があり、注意を促しております。
- ・ 厨房内作業時、爪が伸びていたこと、キャップのかぶり方について、注意を促してあります。
- ・ 常に事務的な業務ばかりでなく、当院では美味しい料理を提供するため調理業務にも力を入れております。最低家庭料理が作れないようでは、患者さんの栄養指導に説得力が欠けると思います。
- ・ 率先的態度はやや欠けると感じました。
- ・ 爪をのばしたまま厨房に入り、当院の調理師から注意を受け、あわてて切るという状況で、基本的な衛生意識が不十分であった。
- ・ 厨房内では、特に質問もなく意欲に欠けていた。
- ・ 実習記録に「頑張った。努力した。」という文言が多く見られるが、実習は褒められる評価を受ける場ではないので、客観的な視点で見たこと、興味を持ったことなど詳細な記録を残しておくべきかもしれない。
- ・ 調理は単純仕事も多いことを理解する必要があるようです。
- ・ いわれた事はまじめに出来るが、率先して取り組むことはなく、ただ見ているだけだった。
- ・ 厨房内の業務については難易な部分は他人に押し付けてしまうような部分があった。
- ・ 自己アピールも時には評価を下げてしまう場合もあることを理解しておいて欲しい。
- ・ 人間関係を円滑にし仕事に取り組む為には、業務の知識や資格だけでなく、パートの方など年上の職員との関わりが大切であることを認識して行って欲しい。
- ・ 年上の方や先輩に対しては敬意を持って話して欲しかった。
- ・ 調理実習では消極的でしたが、病棟業務は積極的でした。
- ・ 給食管理についての事務的な部分は理解していると思われるが、調理技術等については平均以下である。
- ・ 献立作成については数字合わせの部分が多く、実際に現場で使うにはまだ無理のようです。
- ・ 衛生管理についてはあまり徹底されていないように感じた。
- ・ 管理栄養士の仕事は給食管理もきちんとできなくてはなりません。
- ・ 給食管理はもう少しかと思われます。一般食の献立（3週間分）に2週間かかりました。もう少し料理に興味をもったら良いと感じました。
- ・ これからももう少し勉強してくれると良いでしょう。

特定給食施設における臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営） の評価とご意見

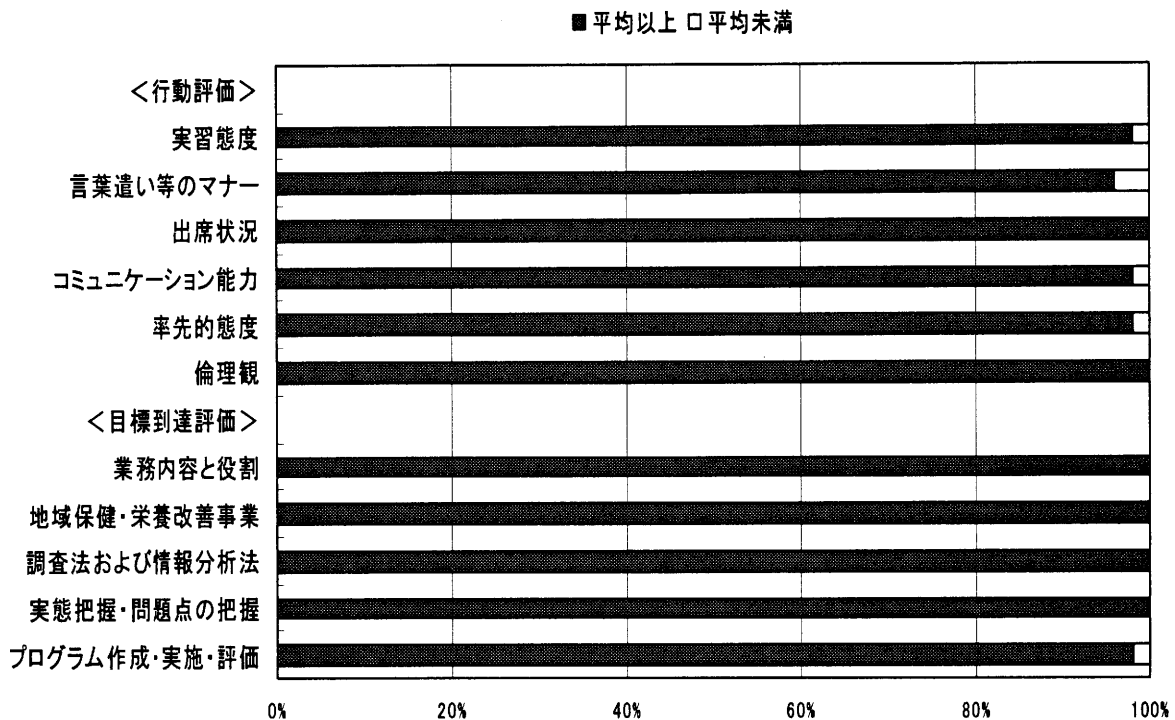


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 現場での作業で得るものが多かったようだ。実習後もスーパーなどに立ち寄り、食品などについて調べるなど努力が見られた。
- ・ リーダーとして他の実習生に注意するなど、細かい気配りが見られた。質問も多く率先して作業を行うなど常に真摯な態度だった。最後のリーフレットづくりでは、少ない資料の中からグループをよくまとめ立派なものを仕上げた。
- ・ 人の話を真剣に聞き、常に真面目な態度だった。業務隊（給食業務の所属する部署）の会食ではよく指示に従い丁寧な盛り付けを行った。最終日のリーフレット作りでは積極的に考えや意見を出し、他のグループ員と協力して立派なものを仕上げた。
- ・ 受け答えがハキハキして常に真剣な態度で実習に臨んでいた。師団長（練馬駐屯地の No. 1）などの重要な会食の際には自らすすんで配食の役割につくなど積極的な態度が見られた。業務隊の会食ではよく指示に従い、丁寧な盛り付けを行った。最終日のリーフレット作りではグループ員の意見を良く聞き原動力となって頑張った。
- ・ いつも明るく実習に臨んでいた。
- ・ 人の話を真剣に聞き、常に笑顔を絶やさず周囲を和ませてくれた。挙措に人柄の優しさが伝わってきました。
- ・ 終始控えめな態度でしたが人の話を真剣に聞き、常に真面目な態度で実習に臨んでいた。
- ・ 実習中は常に真摯な態度で臨んでいました。積極かつ的確な質問をするなど意欲的な姿勢が随所に見られました。またリーダーとして、大変よくグループをまとめてくれました。

- 人の話を聞く時、相手の目をじっと見つめ、真剣さがとてもよく伝わってきました。他の隊員からの評判もよく、常に積極かつ真摯な態度で実習に臨んでくれました。
- 質問もし、受け応えもはっきりとしていて、とても真剣に臨んでくれました。また、常に笑顔を絶やさず、周囲の雰囲気や和らげてくれました。
- 常に真面目な態度で実習に臨んでくれました。的確な質問も多く、またこちらの質問にもはっきりと答えてくれました。指導、指示事項にも素直に応えてくれました。
- 常に控えめな態度で、もくもくと任務を果たしてくれました。こちらの話には真剣に耳を傾け、頷くなどの反応が常に見られました。最終日には実習生代表として大勢の隊員の前ではっきりとした挨拶をしてくれました。
- 現場実習で突然任された味噌汁が上手に出来て褒められて嬉しそうな様子が印象的でした。時々、粗い部分がみられたのは残念でした。
- 一生懸命取り組んでいただきました。控えめな様子でしたが、しっかり芯をとらえていたと思います。やや気になったのは文章に箇条書きが多く、少し読みづらかったことでしょうか。
- 調理実習においては指導事項を率直に受入れ作業に取り組んでいた。積極性があればもっといい。
- 給食に対する関心、探究心の強さが日々の日誌から良くわかる。積極的な態度があればもっとよくなる。

臨地実習Ⅲ（公衆栄養）の評価とご意見

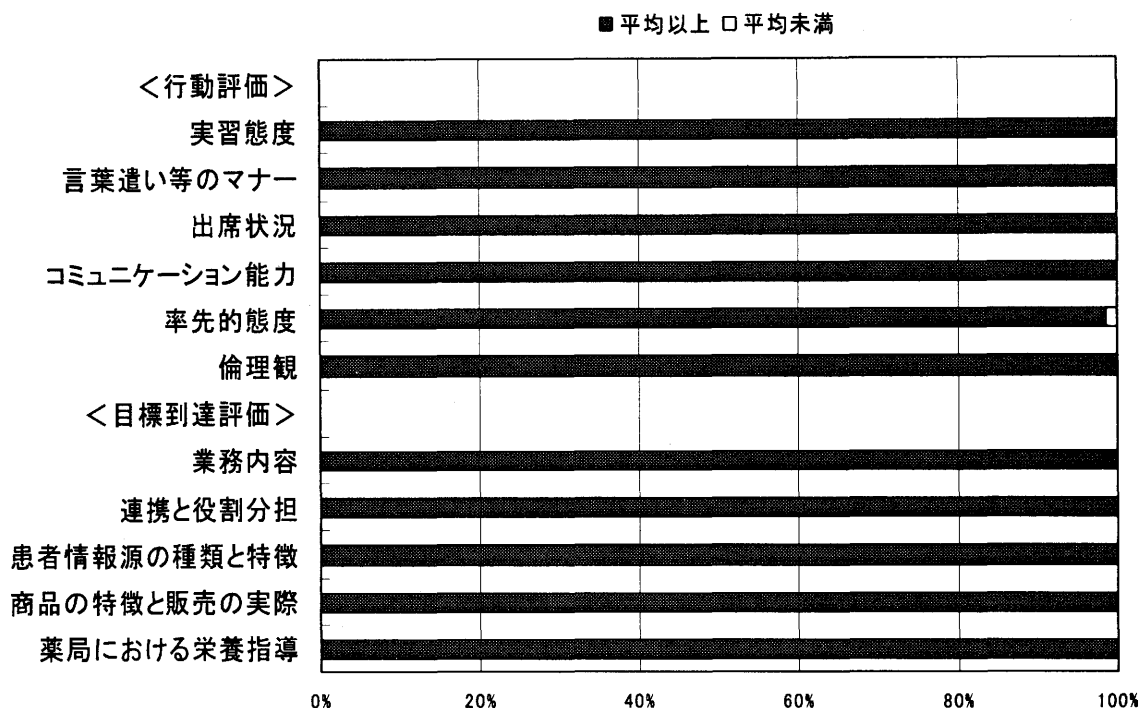


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・一週間という短い期間でしたがこの保健センターでいろいろなことを学び、吸収しようという姿勢が見られました。素直で明るく振舞う姿には大変好感が持て、こちらも見習わねばならないと感じるほどでした。今回の実習においては、真面目に取り組み、積極的に行動して頑張っていました。
- ・何事にも積極的に取り組み、実習態度も優良でした。職員や住民に好印象を残してくれました。課題への取り組みも見事で、良い結果が出たと思います。これからの活躍を期待しています。
- ・3歳児健診時のエプロンシアターを担当し、幼児にわかりやすくつたえられるよう工夫していました。市民に対する接し方も丁寧で、実習に前向きに参加する姿勢が見えました。
- ・研修中、大変熱心に取り組む様子が伺えました。住民の方に対しても、学生らしい快活さで話しかける様子が印象的でした。
- ・実習の目標を持ちながら意欲的に取り組み、疑問に思うことは質問し、その場で理解していこうという姿勢が感じられました。実習のリーダーとしても仲間どうしコミュニケーションをとりよくまとめていました。公衆栄養で見てきた栄養士業務の幅の広さを実感し、最終レポートでよく整理されてまとめて報告されていました。じっくり腰をすえて学んでいかれるような栄養士になっていただきたいと思います。
- ・実習に積極的に参加しようという態度が強く感じられた。わからないことについては質問をし、住民にも話し掛ける場面が多く見られたが、上手く話ができなかった。経験を積むことが重要であるとアドバイスした。
- ・知識は身に付いていても、現場で相手に伝えるためにはコミュニケーションが大切です。今回の実習期間中は受け身の姿勢が多く、こちらへの質問等が少なかったのが残念です。

- ・もう少し積極的にできるとよかった。行政の住民サービスについて理解できたようだ。
- ・真面目に取り組み、理解できていたが、積極的な態度があればもっと充実した実習になった。
- ・ミニ健康教育のときには、受講者の顔を見るなど、確認しながらすると、更に良いと思います。
- ・大学での先生方のきめ細やかな指導のためか、やや積極性に欠けていたように感じました。
- ・短期間の実習の中で、栄養士業務についての理解を深めるのは、難しかったと思います。熱意は感じられましたが、積極的な行動に結びつかなかった点が残念です。もう少し元気に取り組んで頂くと良かったかと思います。
- ・緊張されていたのか性格なのかは分かりませんが、全体的に口数が少ないような気がしました。しかし、事業の説明等にはうなずきながら熱心に聞く態度が見られました。また多くの事業に参加して頂きましたが（勝手が分からないので当然だと思いますが）もう少し積極的な面があっても良いのではと思いました。
- ・真面目に取り組み、多くのことを感じとり理解していたが、言葉で表せるとなおよい。
- ・栄養士業務は体力も必要ですので、日頃からの健康管理に気をつけて下さい。肩の力を抜いてこれからも頑張ってください。
- ・指示に対してテキパキと行動し「学ぶ」姿勢が感じられましたが、積極的でなかったのが残念です。
- ・5日間という短期間で、保健センターでの栄養士業務の一端しか伝えられなかったかもしれませんが、幅広い業務を行っていくためには、常に自己学習が必要だということを実感してもらえたかと思います。
- ・知識を生かすのと同時に、他職種や住民とのコミュニケーションの重要性を理解して頂けたら幸いです。ただ、実習期間中、受け身の姿勢が多く、こちらへの質問等があまりなかったのが残念です。せっかく現場に来ているのですから、積極的にコミュニケーションをとってみる等の行動力も必要かと思いました。
- ・実習期間は出席状況もよく頑張っていました。気になったところを幾つか箇条書きにさせていただきました。次第に慣れてきましたが、積極的でなかったのが残念です。慣れてきた頃の言葉遣いが気になりました。調理実習中、住民同士の会話の話題が「食」になっていました。その会話の内容が気になったようで、話題の中に入りアドバイスしていました。住民の中に飛び込んでいくことは大切なことですが、学生の発された言葉が住民に対して指導的だったのは驚きました。実習指導者のコメントにも書かせていただきましたが、自分の置かれている状況をしっかり把握し行動していただきたいと思います。実習の記録を拝見させていただくと、地域は他の実習先に比べ漠然としているからか、実習生も「何を学びたいのか、何を学ぶのか」という目標がはっきりしていなかったのではないかと思います。またこちらとしてももっと具体的に伝えるべきだったと思いました。
- ・一週間という短い期間の中で様々な保健事業が展開されたので大変だったかと思います。しかし、その短い期間の中で知識不足や、人との関わり方の難しさなどを痛感し、いろいろな事を感じ取っていたように見受けられました。

薬局実習の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・勤務態度、積極性ともによかったと思います。ドラッグストアでの栄養士の役割について、私たちに話をしたつもりですが、参考になっていれば幸いです。有難うございました。
- ・実習態度はまじめで率先して学ぼうとする意欲が感じられました。また積極的にお客様にお声掛けしたり、他の担当者に質問するなど自らドラッグストアでの接客業務の理解に努めていた。
- ・男性ならではの視点と発言力に大いに好感が持てました。薬剤師とのコミュニケーションの機会が少なく、あまり話しが出来なかったようだが、男性薬剤師からの受けは良かったです。
- ・保険薬局も就職の一つとして視野に入れているようなので管理栄養士として、頼もしい存在になると思います。何に対しても大変素直な態度に好感が持てました。
- ・栄養指導で実際に学んだことをロールプレイング等でもすぐ実践する能力があり、見ていて頼もしく思えました。
- ・見学店舗でも率先して薬剤師とのコミュニケーションをとり、打ち解けていたので実習を学びながら自分のものとして獲得していくということが出来ていたように思います。
- ・自分の知識や持ち得る資料をその場に応じて活用できる能力があると思いました。
- ・自分の中での意見をきちんと持ち、発言する点、物事を冷静に観察する点は優れていました。実習最終日に管理栄養士としての栄養指導の現場に携わりたいという感想があり、彼女自身の視点が少し広がった印象を受けました。
- ・その場に適応した資料を作成したり、意見を述べたりする能力に秀でていたと感じました。
- ・明るく学生らしく真っ直ぐな視点、薬剤師や医療事務への率先的な態度も好感が持てました。学生としてでなく、一栄養士として将来、楽しみではあると感じました。

- ・物怖じせずに自分の考えや質問を口に出来る積極性は、人と関わる仕事につくためには必要な能力だと思います。
- ・非常に良い勤務でした。能力の高さにはびっくりです。今後社会へ出てからも期待の持てる人材だと思います。今後も個人の能力アップにご協力できたらと考えております。
- ・特に、自分から仕事を見つけ率先にそれをやりぬく姿勢は感心させられました。
- ・お子様やお年寄りに対してやさしく接することができ、見ていて微笑ましく感じました。学生さんからもたくさん学ばせていただきました。
- ・毎日実習書が一杯になる程、色々なことを感じ、学ばれたようです。素直な性格でよい印象でした。
- ・全体として薬の知識は薬剤師も感心するくらいよく勉強しています。彼らがきちんと評価され、活躍できる場が増えることを期待します。
- ・講義を「受ける」、何かを「まとめる」事はとても上手です。もう少し率先して行動できればなお良いと思います。
- ・友人を介して意見を述べる事が多く、直接相手に伝えられるとよいと思いました。
- ・言われた事はそつなくこなすが、受身の姿勢で質問などが多く、もう少し積極性があると更に充実した実習が出来たのではないかと思います。
- ・対話する相手によって言葉や態度を選ぶ能力を身につけ、さらなる飛躍を期待します。
- ・与えられたことを受け入れるだけでなく、他者に対して「自分はどうしたいのか」主張できると良いと思います。
- ・実習態度は良く話もよく聞いていたと思うが、仕事に対する積極性、コミュニケーションに関してはもっと出してほしかった。
- ・知識のヨロイばかりを身につけたガチガチの職人ではなく、患者の気持ちを察してあげられる医療人としてのスキルを見につけることを目指して様々に見識を広げていってもらいたいと思います。
- ・もう少し元気があっても良かったと思うが、慣れない業務の中で緊張していたかも。
- ・薬剤師が栄養士さんのたまごに教えられることはどうしても薬のことにに関してになってしまいます。とてもむずかしいというのが本音です。
- ・作業等は正確に行っていたが、時間が少しかかってしまう事も多かった。
- ・ドラッグストアは色々なお客様を相手にします。人が好きだという人であれば楽しく仕事ができると思う。将来を決める時にはぜひその点も生徒さんに言っていただけたらと思う。

平成 17 年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

発行日：平成 17 年 10 月 1 日

編集：城西大学薬学部医療栄養学科
臨地実習委員会

